

Journal of IPCs vol.37

<http://www.cc.oita-u.ac.jp/journal/vol.37.pdf>

▶ 特集

『学修eポートフォリオシステムMaharaを活用した学修とアセスメント』

／高等教育開発センター

▶ 業務報告

『新基盤情報システムについて』

『学習支援システムの更新について』

『最新ワクチンソフトとサポート対象OSの利用の徹底』

『ノートパソコンの無人貸出返却システムの開発と運用』

平成27年度委員会・会議

平成27年度業務記録／トラブル対応記録

平成27年度教室使用状況

システム利用統計

キャンパスネットワークシステム構成図

基盤情報システム構成図

▶ 図書館紹介

『学術情報拠点(図書館)の学習支援サービスについて』

学術情報拠点(図書館)施設の概要

▶ センター利用案内

情報基盤センター(旦野原キャンパス)

医学情報センター(挾間キャンパス)

▶ 委員会名簿



大分大学学術情報拠点 (情報基盤センター・医学情報センター)

〒87 0-1192 大分市大字旦野原700番地

TEL 097 -55 4-7985 FAX 097 -55 4-7990

情報基盤センター <http://www.cc.oita-u.ac.jp/>

医学情報センター <http://www.med.oita-u.ac.jp/mic/>

発行 2017年3月 情報基盤専門委員会広報部会

学修 e ポートフォリオシステム Mahara を活用した学修とアセスメント

高等教育開発センター 鈴木雄清

学修 e ポートフォリオシステム Mahara (マハラ) が全学で利用できるようになりました。Mahara は、来年度から導入される e ラーニングシステム Moodle (ムードル) と同じくオープンソースコミュニティで開発され、世界中の教育機関や企業等で広く使用されています。Mahara の開発は、2006 年にニュージーランドの高等教育委員会の e ラーニング共同開発基金の援助を受けたマッセー大学を中心とするプロジェクトによって開始されました。Mahara の名称は、ニュージーランドの公用語の 1 つであるマオリ語で「思考 (“to think, thinking, thought”)」を意味する言葉が起源となっています⁽¹⁾。

1. Mahara の設計思想

Mahara をはじめとする多くの e ポートフォリオシステムの設計の背景には、構成主義やインフォーマル学習の考え方があります。教育における構成主義とは、学習を学習者自身が知識を構築する過程として捉え、知識を必要とする実際の状況下で、他の学習者との社会的な関わり合いを通じて学習がおこなわれるという考え方です⁽²⁾。e ポートフォリオの活用は、授業での学びのようなフォーマルな学習だけでなく、学生同士の交流やボランティア活動、インターンシップ、サークル活動等でのインフォーマルな学習にも展開できます。Mahara は、学生が各自の目標を主体的に設定し、大学生活を通じて、学生同士が相互に教え、学び合うことができるような環境を提供します。

2. 学修 e ポートフォリオを活用した学修の過程

ポートフォリオは、目的に応じて幾つかの種類があります。本学や国内の多くの大学で導入されているのは、学修ポートフォリオ (learning portfolio) です。学修ポートフォリオは、学修の過程で、学修者が学修の成果物を蓄積したり、学修の振り返りや次の学修へ誘導したりすることを支援するものです⁽³⁾。学修 e ポートフォリオを活用した学修には、図 1 に示すように、「収集 (collection)」、「選択 (selection)」、「省察 (reflection)」、「連携 (connection)」の 4 つの大きな過程があります⁽⁴⁾。学修 e ポートフォリオシステムを活用することによって、

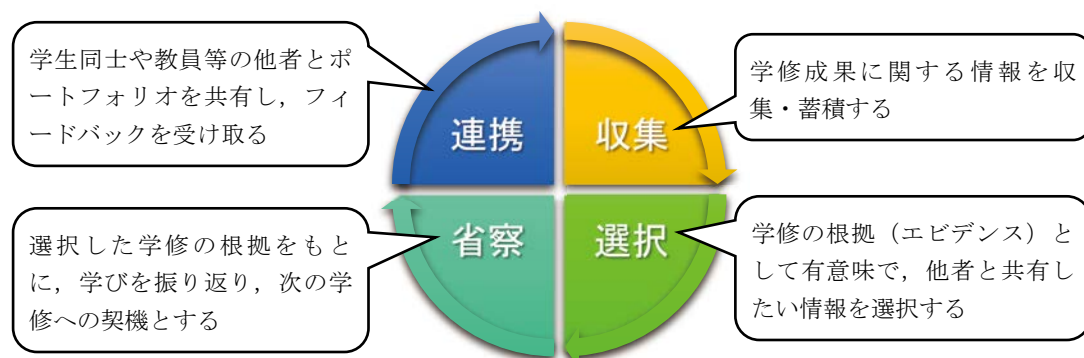


図 1 学修 e ポートフォリオの 4 つの過程 (Smith, J. A. (2006) の図を参考に作成)

紙媒体と比較して、「連携」の過程において学修の根拠（レポートや論文、プレゼンテーション資料、作品、実演等の写真、動画等に加え、学生の省察、他の学生や教員からのフィードバック）を共有したり、他者評価や相互評価を行ったりすることが容易になります。

これらの4つの過程を経ることによって、学生はより深い学び「フォリオシンキング (folio thinking)」⁽³⁾⁽⁵⁾ができるよう訓練されます。フォリオシンキングには、(1)実行した行為について省察し、次に続く行為への省察を繰り返す「内省的学習 (reflective learning)」、(2)断片化した事実に意味を与え、専門分野内外の事実と関連づける「統合的学習 (integrative learning)」、(3)共同体に参加することによってアイデンティティを形成する「社会的学習 (social learning)」の3つの次元があります。

3. 学修アセスメントとしてのeポートフォリオの活用

学修ポートフォリオでは、「省察」や「連携」の過程において自己評価や他者評価を行います。評価のためのゴールを設定しておく必要があります。学修eポートフォリオを用いた学修の初心者である学生にとってゴール設定は容易ではありません。そのため多くの場合、専門分野ごとに期待されるゴールとしてのルーブリック (rubrics) が作成・活用されています⁽³⁾。ルーブリックとは、表1に示すような、学修成果のレベルを規定する基準 (criteria) と、それぞれの習熟レベルを示した記述 (descriptors) から構成される評価基準表のことです。ルーブリックを用いることによって、評価の客観性や妥当性を高めることができます。

本学のMaharaには、ルーブリックを用いた学修の根拠の

「選択」や「省察」を支援するルーブリックプラグイン⁽⁷⁾が導入されています(図2)。カリキュラムルーブリック (教育プログラムのルーブリック) とMahara ルーブリックプラグインを活用し、学生の蓄積したデータがカリキュラムに関連づけられて収集・分析したものは、教育プログラムの有効性を示す貴重な情報となります。また、カリキュラムルーブリックにもとづいた学修の根拠を学生自身が「収集」し、「省察」することは、学修成果を測定・把握するための客観的な学修評価法の1つである学修到達度調査 (ペーパーテスト等を用いて学生の知識・能力等を測定するもの) の代替となる評価法となりえます⁽³⁾。特に、学生到達度調査では測定が難しい資質等における項目の評価で活用できます。

4. おわりに

知識社会の到来によって、これからの学生には生涯学び続けていく力が求められています。継続的に学びを追求し、絶えず省察を行っていくという学修eポートフォリオを用いた学修の過程は、生涯学習に必要な能力を高めるのに役立ちます。学修eポートフォリオ

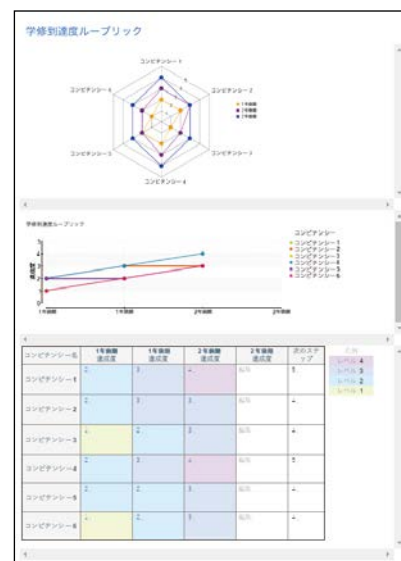


図2 Mahara ルーブリックプラグイン

を活用して学生の学修を効果的に支援するためには、学生だけでなく教職員がポートフォリオによる学修の本質についての新しい認識を持つことが重要です。初年次教育での学修 e ポートフォリオに関する学修をはじめ、学生が自律的かつ内省的に学修に取り組んでいけるような仕組みや文化づくりが必要です。そのためには、長期的な視点での計画と多くの準備が求められます。

表 1 福祉健康科学部理学療法コースで作成中のカリキュラムルーブリック（一部）

学修成果のレベルを規定する基準	各習熟レベルを示した記述語			
	ステップ 4	ステップ 3	ステップ 2	ステップ 1
基礎医学に関する知識	代表的な疾患に対する理学療法について、人体の構造・機能・病態を踏まえて説明できる。	疾病の病態を説明できる。	人体の生理機能について説明できる。	正常解剖について説明できる。
理学療法学の専門的知見の理解と技術	学修者同士の体験を通じて臨床的技能を実演できる。	各疾患の病態を理解し、必要となる理学療法を適切に選択し、効果のメカニズムについて説明できる。	理学療法学の基礎を説明できる。	理学療法の基礎となる臨床医学について説明ができる。
基礎的な研究能力	自らが行った研究内容をまとめ、口頭で発表することができる。	先行研究を踏まえて、研究の目的や仮説を立てることができる。	臨床症例と基礎医学との関連性を説明することができる。	関連する論文や図書を探ることができる。論文や図書から先行研究の知見を整理してまとめることができる。
実践現場における理学療法技術	理学療法の知識と技術を統合し、問題点の抽出、ゴール設定、治療プログラムの立案ができる。	必要な検査・測定を実施し、得られた結果を統合解釈して、問題点を抽出することができる。	既得の知識、技能を活用し問診と簡単な検査・測定が実施できる。	理学療法士の役割と、理学療法対象者を取りまく種々の職種の役割を学びチーム医療について説明できる。

参考文献

- (1) Mahara 日本語ドキュメント <https://wiki.mahara.org/wiki/Mahara> 日本語ドキュメント
- (2) 久保田賢一：“構成主義パラダイムと学修環境デザイン”，関西大学出版部，大阪（2001）
- (3) 小川賀代，小村道昭編：“大学力を高める e ポートフォリオ：エビデンスに基づく教育の質保証をめざして”，東京電機大学出版局，東京（2012）
- (4) Smith, J. A.：“Customizing Portfolio Tools in Sakai”，6th Sakai Conference, Atlanta, GA.（2006）
- (5) Chen, H. L., & Penny Light, T.：“Electronic portfolios and student success: Effectiveness, efficiency, and learning”，Association of American Colleges and Universities, Washington, DC（2010）
- (6) 宮崎誠：“Mahara ルーブリックプラグインの開発”，情報処理学会研究報告教育学修支援情報システム(CLE)，2015-CLE-16(5)，pp. 1-4.（2015）

新基盤情報システムについて

吉田和幸

1. はじめに

学術情報拠点(情報基盤センター・医学情報センター)では、2011 年から教育用 PC を主体とするシステムを 4 年ごとに、サーバ・主要 LAN スイッチを主体とするシステムを 6 年ごとに更新している。2017 年 3 月運用開始の予定の新基盤情報システムは、サーバ・主要 LAN スイッチを主体とするシステムであり、従来の基盤情報システムを継承するとともに、プライベートクラウドとパブリッククラウドとの組み合わせによる適材適所のシステム構築とセキュリティ対策の強化を目指す。本稿では、新基盤情報システムについて述べる。

2. サーバシステム

主なサーバシステムは、仮想化基盤サーバとして HP ProLiant DL360×8 台と 160TByte のファイルサーバ A、110TByte のファイルサーバ B を 16Gbps のファイバーチャネルで接続している(図 1)。この他に、独立したサーバを 8 台導入する(図 1)。仮想化基盤上に統合認証サーバ、DNS、メールゲートウェイ、メールサーバ、ウィルス対策ソフト配布システム、syslog サーバなどを重要なサーバは冗長構成にして、全体で 60 台ほどのサーバを稼働させる。独立したサーバには、仮想基盤になじまないサーバアプリケーションを稼働させる。以下に主なサーバについて述べる。

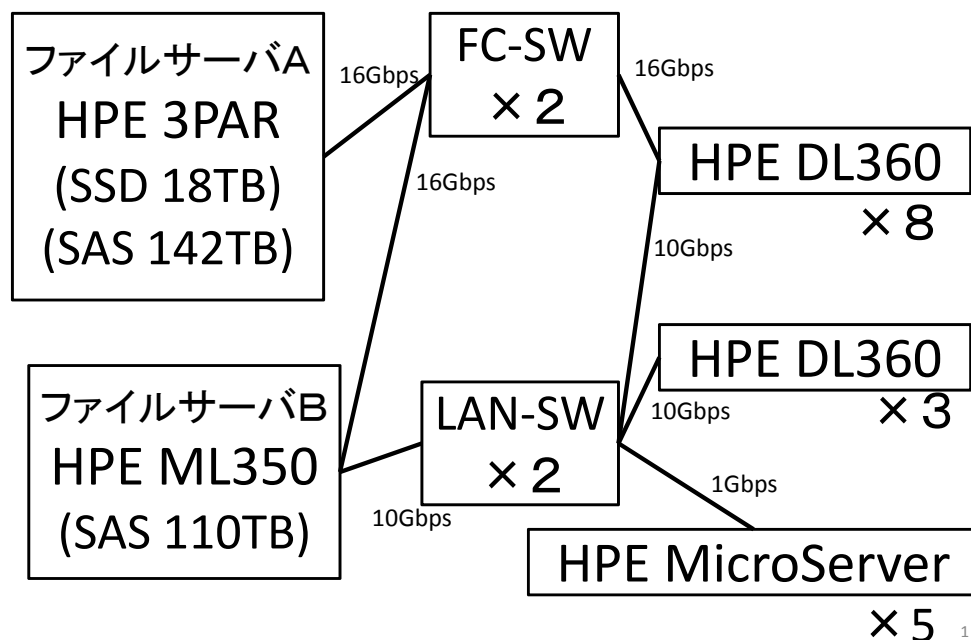


図 1. 基盤情報システムサーバ構成図

2.1 e-Learning System

従来、WebClass で運用してきた e-Learning System を、Moodle に変更する。詳細は別稿に譲る。英語教材のコンテンツを運用する NetAcademy2 は、NetAcademy Next に更新する。

2.2 グループウェア

すでにメーカーのサポートが終了してしまった Globalware は、脆弱性等のセキュリティ上の問題が発見されても、修正パッチが提供されず危険な状態が続いている。そのためグループウェアを更新して、Zion を導入する。

2.3 メールサーバ

メールは、基盤情報システムの中でも重要な基盤的サービスである。セキュリティ対策の観点から、送信ログを参照できない Saas は利用せず、従来と同じく DeepMail を導入する。ディスクを大幅に増強することにより inbox(受信箱)の保存期間を 180 日から 400 日に延ばす。

2.4 ファイル共有サーバ

巨大なメール添付ファイルの一時保存場所として運用してきた proself を、ファイル共有サーバとしても運用できるよう、ディスクを増強する。

2.5 DNS サーバ、ntp サーバ

ネットワーク運用の基盤となる DNS サーバ、セキュリティの基礎となる時刻同期のための ntp サーバを、従来通り冗長構成で運用する。

3. パブリッククラウドの利用

3.1 Web サーバ

従来、1 台の Web サーバに仮想ドメイン機能で多くの URL を同居させていた。主な Web サーバについて、さくらインターネットの Saas に移し、いくつかのグループに分けて運用することにより、安定した運用を目指す。

3.2 共有スケジュール

google と利用者 ID の認証連携を行い G Suite を用いて、研究室等での共有スケジュールとして利用できる環境を構築する。

4. セキュリティ対策

4.1 従来のセキュリティ対策

セキュリティ対策の中心は、2015 年 4 月に導入したファイアウォール(Forigate 1500D)である。本ファイアウォールにより、「学外から学内(inbound)」, 「学内から学外(outbound)」の両方向のトラフィックを管理するとともに、Web ページのアクセスに関しては、URL の分類、レーティングに基づいて、許可/遮断を決定している[1]。

メールに関しては、ファイアウォールで stream 型の簡易なウィルス検査を行う[1]とともに、メールゲートウェイで送信元メールサーバのレーティング情報などを用いて spam 判定を行い、その後、メールサーバでウィルス検査を行っている[2]。さらに PC に取り込まれたときに PC のウィルス対策ソフトウェアで添付ファイルのウィルス検査が行われる(表 1)。

表 1. メールの多段防御

装置等	対策
Firewall	Inbound/Outbound port 25 Block (IP25B/OP25B) Mail Gateway が送受信するメールのみ通す
Mail Gateway	spam 対策 (Greylisting 他)
Mail Server	添付ファイルのウィルス検査
PC	添付ファイルのウィルス検査, C&C サーバとの通信の検知・遮断

従来のセキュリティ対策の問題点として、メールに関しては、多段防御をしているが、Web ページからファイルをダウンロードするとき、そのページの URL のレーティングのチェックだけで、ファイルを検査する手段を持っていないため、ファイルの検査は PC のウィルス検査のみになってしまう点であった(表 2)。

表 2. WEB の多段防御

装置等	対策
Firewall	Inbound port 80 Block (IP80B)(WEB サーバ宛の通信のみ通す。) Outbound は、フリー
Firewall	URL のレーティング
Sandbox (新設)	ダウンロードファイルを隔離環境で実行、ふるまい検査, C&C サーバとの通信の検知
PC	ダウンロードファイルのウィルス検査 C&C サーバとの通信の検知・遮断

また、どんなに対策をしても、マルウェア（悪さをするソフトウェア）の侵入を 100%阻止することはできない。侵入されたときその侵入経路を確認し、他の PC に拡散していないことを確認することは重要である。しかしながら、これらの運用ログを収集するためのディスクスペースが足りなくなっていた。

4.2 新システムでのセキュリティ対策

Web でダウンロードするファイルを検査する装置として、サンドボックス(FireEye 7500NX)を導入する。サンドボックスは、ダウンロードされているファイルを取り込み、内部の隔離された環境で仮に実行してみて、そのふるまいを確認することでマルウェアを検知する(表 2)。そのため、未確認のマルウェアを検出することも可能である。今回導入する装置は、隔離された実行環境として Windows 環境の他に Mac OSX 環境も持っている。

ファイアウォール、サンドボックス、メールサーバ等のログを保存することによって、マルウェアの侵入経路を確認することが可能になる。そのため、3 か月～半年程度すべてのログを保存できるよう、大きなディスクスペースを持った **syslog** サーバを導入する。

4.3 「大学間連携に基づく情報セキュリティ体制の基盤構築」試験運用への参加

2017 年 3 月から試験運用が始まる国立情報学研究所の「大学間連携に基づく情報セキュリティ体制の基盤構築」事業[3]に参加する。これにより、さらに安全なネットワーク運用が期待できる。ただし、本事業は、常時監視ではなく、巡回監視であるので、検知された場合、過去にさかのぼれるようにログファイルの保存が重要になる。

[1] 吉田：ファイアウォールの更新について、*Journal of IPCs*, 大分大学学術情報拠点(情報基盤センター・医学情報センター), vol.36, pp.4-5(2016)

[2] 吉田：情報基盤センターにおける spam 対策の現状、*Journal of IPCs*, 大分大学学術情報拠点(情報基盤センター・医学情報センター), vol.35, pp.2-4(2015)

[3] 国立情報学研究所：「大学間連携に基づく情報セキュリティ体制の基盤構築」、平成 28 年度 SINET・学術情報基盤サービス説明会資料、
<http://www.nii.ac.jp/service/openforum/archives/2016/setsumeikai/> , (2016)

学習支援システムの更新について

情報基盤センター

吉崎弘一

1. はじめに

これまで情報基盤センターでは、Web ページ上で利用する学習支援システムとして、WebClass（日本データパシフィック株式会社）を運用してきましたが、2017 年 3 月から新しい学習支援システムとして Moodle（オープンソースソフトウェア）の運用を開始します。以下ではこの学習支援システムの更新についての概要を記載します。なお、今回取り上げる汎用的な学習を支援するシステムとは別に、英語学習専用のシステムとして運用してきました ALC NetAcademy2(株式会社アルク)を、2017 年 3 月から後継の ALC NetAcademy NEXT に更新します。また、能動的な学習を積極的に支援するシステムとして、LePo の運用を 2017 年度中に開始することを予定しています。

2. Moodle へのシステム更新

2.1. Moodle とは

今回、新たに導入する学習支援システム Moodle は、オープンソースソフトウェアとして開発され、国内外を問わず非常に多くの教育機関で利用されています。このため、機能追加や運用に関する知見も得やすいと言った特徴と共に、導入・保守費用が安価と言うメリットがあります。また、スマートフォンから Web ブラウザを介して Moodle にアクセスすることで、Moodle 上の多くの学習資源を利用できます。

2.2. WebClass から Moodle への学習資源の引き継ぎ

現在、運用している WebClass 上で、開講年度が 2016 年度として登録されたコースの内、資料やテスト/アンケート教材、会議室を利用しているコースを対象に、それらのコースに登録された下記種別の教材を、Moodle の 2016 年度コースとして、一括して複製登録します。

- ・「資料」と「テスト/アンケート」
- ・「会議室」は、そのタイトルのみ複製登録

この教材の複製登録は、WebClass に準じる形で Moodle に登録しますが、新旧システム間で見た目や一部の機能については操作方法が異なる点に、予めご了承下さい。なお、この教材の複製登録は、下記 3 回に時期を分けて実施します。

- I. 2016 年度前期開講コース：2016 年 12 月から複製登録を開始
- II. 2016 年度後期・通年・集中コース：2016 年 2 月初旬から複製登録を開始
- III. 上記時期の複製登録が難しいコース：2017 年 3 月下旬に複製登録を開始

I. および II. に相当するコースの担当者には、それぞれの複製時期が近づきましたら、情報基盤センターからメールで複製の時期を確認します。その回答に応じて、III. の時期での複製登録についても対応します。

なお、WebClass の 2016 年度開講コース以外で、上記種別の教材を新システムに複製登録することを希望される場合は、情報基盤センターまで早急にご相談ください。

2.3. 新システムの利用申請

今年度（2016 年度）の WebClass 開講コースと同様に、教務情報システム（シラバス）に登録される 2017 年度開講科目については Moodle に当該コースを自動的に開設し、それらのコースに履修者を登録します（センターへの利用申請は不要）。それ以外での Moodle 利用については、2017 年 2 月から情報基盤センター Web ページ上で、次年度の利用申請の受付を開始します。

2.4. Moodle の利用方法について

Moodle では、これまでの WebClass で利用できた授業支援ボックスとの連携や、システムログインを利用した出欠確認なども可能です。Moodle には多くの機能があることから、同システムに関するよくある質問と回答を、情報基盤センター Web ページ「利用者への情報」>「2016 年度末システム更新」ページに掲載しています。同ページなどをご参照の上、ご不明な点は情報基盤センター（center@oita-u.ac.jp）までお問い合わせ下さい。

また、Moodle の使い方についての講習会を、2017 年 3 月に旦野原・挾間キャンパスでそれぞれ開催する予定です。この講習会については、2 月下旬を目処に、学内イントラネットで日時と場所をご連絡します。

3. 今後の WebClass について

現在の学習支援システム（WebClass）については、2017 年 3 月以降も同年 10 月（予定）までは、既登録の教材・学習履歴を保持し、それらを既履修者と担当教員が閲覧できる状態にしますが、特別な事情が無い限り、2017 年度以降の授業利用は想定しておらず、新システム（Moodle）をご利用頂く予定です。この方針は、新システム（Moodle）の導入に伴い、現システム（WebClass）の機器保守等のサポートが限定的になることが、主な理由です。また、2017 年 10 月末日をもって WebClass の契約が終了するため、それ以降は WebClass 上の教材や学習履歴にアクセスできなくなりますので、今後もそれらが必要な場合は、上記利用終了日までに各自でダウンロードするなどのご対応をよろしくお願いします。

最新ワクチンソフトとサポート対象 OS の利用の徹底

情報基盤センター

吉崎弘一

1. はじめに

近年、企業や教育機関において、情報漏洩や Web ページの改ざんなどの情報セキュリティインシデントが発生することが増えている。ここでは、そのようなセキュリティインシデントを未然に防ぐための取り組みとして、情報基盤センターが昨年度より特に積極的に取り組んでいる旦野原・王子キャンパスにおける最新ワクチンソフトとサポート対象 OS (Operating System) の利用徹底について報告する。なお、挟間キャンパスにおいても、医学情報センターが同種の対策を行っているが、ここでは旦野原・王子キャンパスの対策について述べる。

2. 最新ワクチンソフトの利用徹底

現在、情報基盤センターでは、旦野原・王子キャンパス内に設置する PC に対して、情報基盤センターがサイトライセンス契約するワクチンソフト (Symantec Endpoint Protection) を、管理者が必ずインストールする方針をとっている。本学の教職員は、情報基盤センター Web ページから利用申請をすることで、無償で同ソフトを学内設置 PC にインストールすることができる。このワクチンソフトをインストールした PC を対象に、同ソフトを集中管理するシステムを介して、情報基盤センターでは主に以下の 2 つの活動を行っている。

2.1. 最新のワクチンソフトへの自動更新

ワクチンソフトは一般に、コンピュータウイルスを定義するパターンファイルだけではなく、ワクチンソフトそのものもバージョンアップする。本学で導入している Symantec Endpoint Protection (以下 SEP) も同様に、過去 2 年間に数回のアップデートがあり、より高度なセキュリティ機能の提供や、ワクチンソフトウェアそのものが持つ脆弱性に対応してきた。

情報基盤センターでは 2016 年秋より、最新バージョンの SEP が開発元から提供されると、センター内で動作検証をした上で学内の SEP を集中管理するシステムを用いて、SEP を利用する PC を対象に、最新バージョンの SEP に自動でバージョンアップする運用を開始した。それ以前は、SEP のバージョンアップがあると、各利用者の手作業による SEP の再インストールが必要であったため、最新バージョンの学内普及には非常に時間がかかっていた。この情報基盤センターによる SEP 自動更新の効果を端的に示したのが図 1 になる。この図では旦野原・挟間キャンパスの Windows PC (サーバ機は除く) を対象に、自動アップデートの仕組みを導入する直前の SEP の利用バージョンと、現在のそれを比べている。この図より現在では 2 キャンパスのほぼ全ての設置 PC で、最新のワクチンソフトを利用していることが確認できる (この図には、最近、PC の電源を投入していないため、最新 SEP にアップデートできない PC も含む)。なお、この SEP の自動バージョンアップが正常に行えない場合もあり、それらに対する取り組みを次節で述べる。

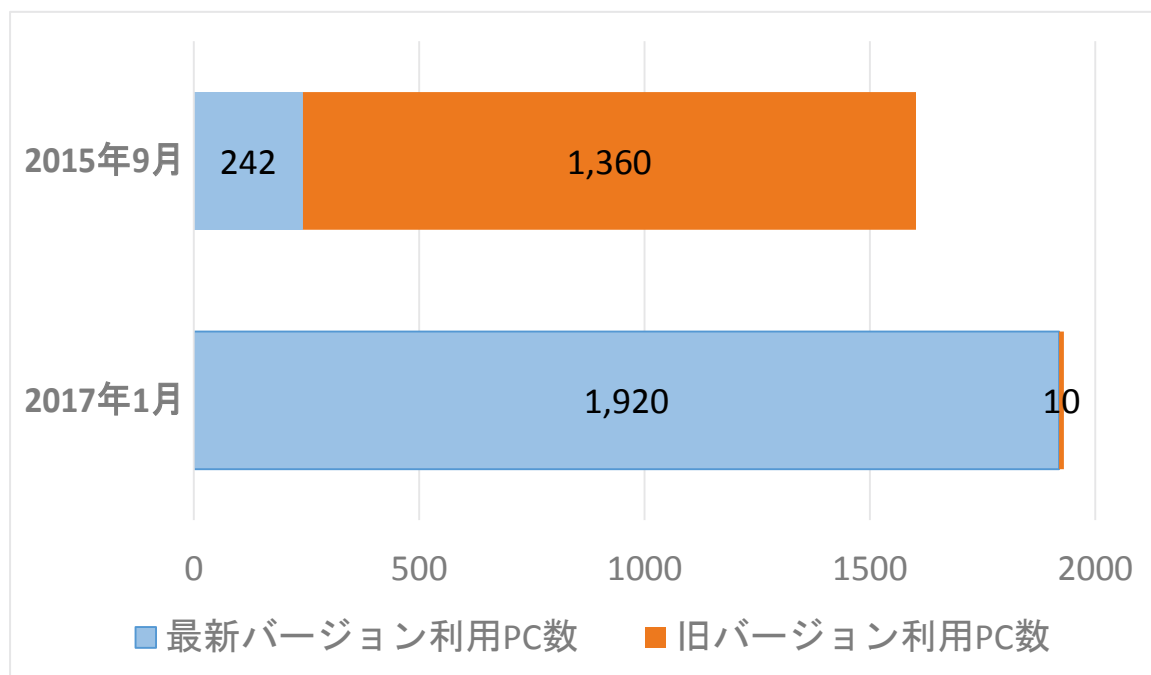


図1 インストールされた Symantec Endpoint Protection バージョン

2.2. 旧バージョンのワクチンソフトへの対応

前節で述べた SEP の自動バージョンアップは、SEP をインストールした PC の環境等の理由で、バージョンアップが正常に行われないことがある。情報基盤センターでは前述の SEP 集中管理システムを用いて、適切にアップデートされていない SEP の利用 PC を見つけるとその利用者に連絡をとり、最新バージョンへのアップデートを促すことで組織としてのセキュリティ向上に努めている。

3. サポート対象 OS の利用の徹底

学内の教育研究活動や業務で用いるコンピュータでは、一般に Windows や macOS が用いられるが、これらの OS も随時アップデートされ、古いバージョンについては提供元によるセキュリティサポートが終了する。近年では WindowsXP が 2014 年 4 月にサポートを終了し、また、Windows Vista については 2017 年 4 月にサポートが終了する予定である。なお、macOS については各 OS バージョンのサポート期間は明示されていないが、過去のセキュリティアップデートの対応から、最新メジャーバージョンを含む 3 バージョンがサポート対象とされるため、2017 年 1 月現在では、バージョン 10.12 (Sierra)、10.11 (El Capitan)、10.10 (Yosemite) がサポート対象であり、10.9 (Mavericks) 以前はサポートが終了していると考えられる。

前章で述べた SEP 集中管理システムを用いることで、同ワクチンソフトを利用する PC の OS も確認することができる。このため、情報基盤センターでは SEP インストール PC を対象に OS を適宜監視し、サポート期間の終了が近づいた OS を利用している PC の管理者には、随時、OS アップデート計画の確認の連絡をしている。

ノートパソコンの無人貸出返却システムの開発と運用

板倉 紀子、清家 孝弥、涌 ゆみ、島岡 章

大分大学学術情報拠点（医学情報センター）

itakura@oita-u.ac.jp

Development and Operation of Unmanned Laptop Lending System

Noriko Itakura, Takaya Seike, Yumi Waku, Akira Shimaoka

Medical Information Center, Oita University

概要

無人で運用するノートパソコンの貸出返却システムを開発し、24 時間いつでも学生が自分でこのシステム上で手続きをすることによって、ノートパソコンをキャンパス内で利用できるようにした。17 時から翌朝 9 時までの貸出が 66%を占めており、24 時間無人運用は、学生の需要に答えるものであることが示された。紛失や盗難は発生していない。

1 はじめに

大分大学医学部（学生数 925 人）では、6 つの部屋に合計 248 台のデスクトップパソコンを設置し、学生に 24 時間開放している。この他に 2 室で 32 台の貸出用ノートパソコンを提供している。

ノートパソコンの貸出は、図書館内では多くの大学で行われているが、ほとんどが館内専用で、書籍と同様の対面貸出であり、閉館までに返却となっている。コインロッカータイプの無人貸出システムが市販されており、導入している大学もある[1]が、高価であり、私立大学を中心に少数にとどまっている。

そこで、無人の貸出返却システムを開発し、24 時間いつでも、学生が自分でシステムに手続きをすることによって、ノートパソコンをキャンパス内で利用できるようにして、2015 年 10 月から運用を開始したので、そのシステムの概要と運用状況について報告する。

2 貸出返却システム

2.1 機器構成

- ・富士通 LIFEBOOK A574/H（2 室に各 16 台）
windows7, Office2013, SPSS
- ・瞬快（富士通四国、環境復元と DHCP サーバ）
- ・ファイルサーバ（個人プロファイル、個人ファイルの保存）
- ・LDAP サーバ（統合認証）
- ・保管庫、電源と有線 LAN

- ・貸出返却手続き用のパソコン(2 台)
- ・無線 AP（200 台、うち学生向け 44 台）

2.2 貸出返却システム概要

- (1) 貸出を受けたい学生は、保管庫の上に設置された貸出返却システム専用パソコンを使い、

図 1. 貸出画面

図 2. 貸出許可（メール）

ID 認証をしてログインし、貸出可能なパソコンの番号を選択して（図 1）貸出依頼を出し、即時許可（図 2）を受けて、パソコンと AC アダプタを持ち出す。このとき、医学情報センターにもメールが送付される。

- (2) 貸出用ノートパソコンの使い方は、学生の利便性と管理の手順を共通とするため、デスクトップの学生用パソコンと同じとした。
- (3) 返却するときは、貸出返却システム専用パソコンで ID 認証をしてログインする。返却画面にはコメント入力欄があり（図 3）、機器の故障や疑問、問題点、改善提案などを入力し、返却ボタンをクリックして、返却届を出す。パソコンを保管庫内に戻し、電源ケーブルと LAN ケーブルを接続する。
- (4) 貸出期間は 24 時間。
- (5) 貸出は同時に 1 台のみ。貸出中（未返却の状態）は、貸出返却システムにログインする

図 3. 返却届

と、返却画面だけが表示され、貸出画面が表示されない。

- (6) 返却期限を過ぎても返却届が出されない場合は、毎日午前 6 時に催促メールが送信される。
- (7) 保管庫にあるパソコンは、バッチで自動的に windows update などのメンテナンスを行う。
- (8) 管理者画面では、パソコンごとに、貸出可、貸出中、修理中の状態を任意に変更することができる。また、貸出記録や学生が入力したコメントを見ることができる。

2.3 貸出用ノートパソコンの利用方法

- (1) パソコンを起動すると、コムネット社製の windows ログインモジュール[2] により、統合認証の ID パスワード入力画面が出る。
- (2) 統合認証の ID によりログインを行うと、ファイルサーバ上の個人プロファイルと Z ドライブが割り付けられ、学生用デスクトップパソコンと同じ環境で利用することができる。
- (3) キャンパスの無線 LAN に自動接続する。
- (4) 電源オフにすると、初期状態に復元される（デスクトップパソコンと同じ）。
- (5) ノートパソコンのカバーを閉じるとスリープ状態になりロックがかかる。解除するには、ログイン時の（統合認証の）パスワードを入力する。
- (6) 印刷環境もデスクトップパソコンと同様に、学生用ネットワークプリンタに出力できる。

3 運用実績

2015/11/1 から 2016/9/21 までの 325 日の貸出記録をもとに統計をとった。

延べ貸出台数は 3,408 台で、1 日平均貸出数は 10.5 台であった（図 4）。1 日最大貸出数は 46 台と実台数 32 台の 1.44 倍で、日に 2 回貸出があったパソコンがあったことになる。一方、催促メールの数は、1 日平均 2.9 通であり、この台数のパソコンは、貸出が継続されているので、実際に学生が使っているパソコン台数は、その日に貸出手続きをしたパソコンと、催促メールの数を合計した数（1 日平均 13.4 台）である（図 4）。

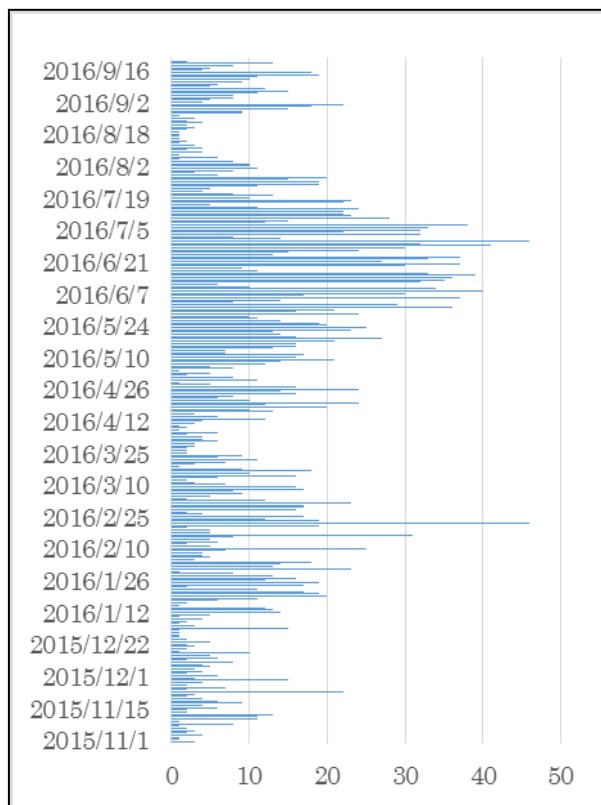


図 4. 日次貸出台数

曜日別にみると、土日にも一定の貸出、返却がある（図 5）。

時刻別にみると、貸出の時刻は、勤務時間帯よりも 17 時以降や深夜の方が多（66%）ことがわかる（図 6）。これは返却時刻が午前 7 時から夕方までの間が多いのと対照的である。

パソコンを借りだした学生は、重複を除いて 328 人で、学生数(925 人)の 35% に相当する。保管庫を設置した 2 つの部屋は、それぞれ 20 台のデスク

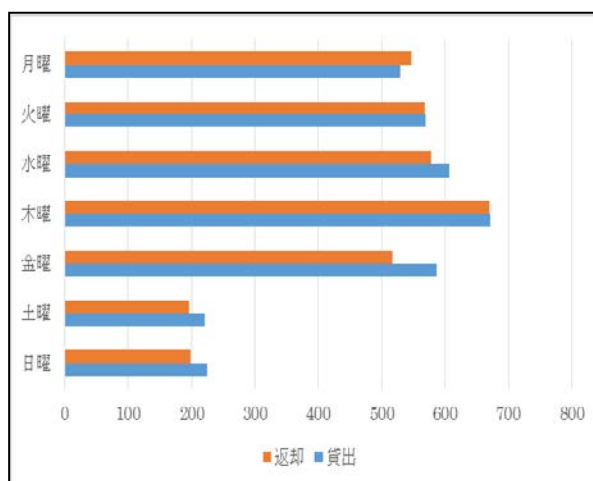


図 5. 曜日別、貸出返却台数

トップが設置されているパソコンルームで、学生の間で主に使う学年が暗黙の上に決まっており、貸出パソコンもその影響を受けて、医学科 6 年生、看護学科 3 年生がそれぞれ 80% 程度を占めている。

これまでに、無断持ち出しや又貸し、長期未返却の事例が少数見られたが、いずれも返却されており、紛失したパソコンはなかった。

4 考察

図書館内を除く学生向けのパソコンの貸出は、私立大学に多く見られ、国立大学では特定の授業の受講者に貸出をしている例を除けば、実施している大学は数少ない。

コインロッカータイプの貸し出しシステムが市販されているが、高価であるため、導入している大学は多くない[1]。

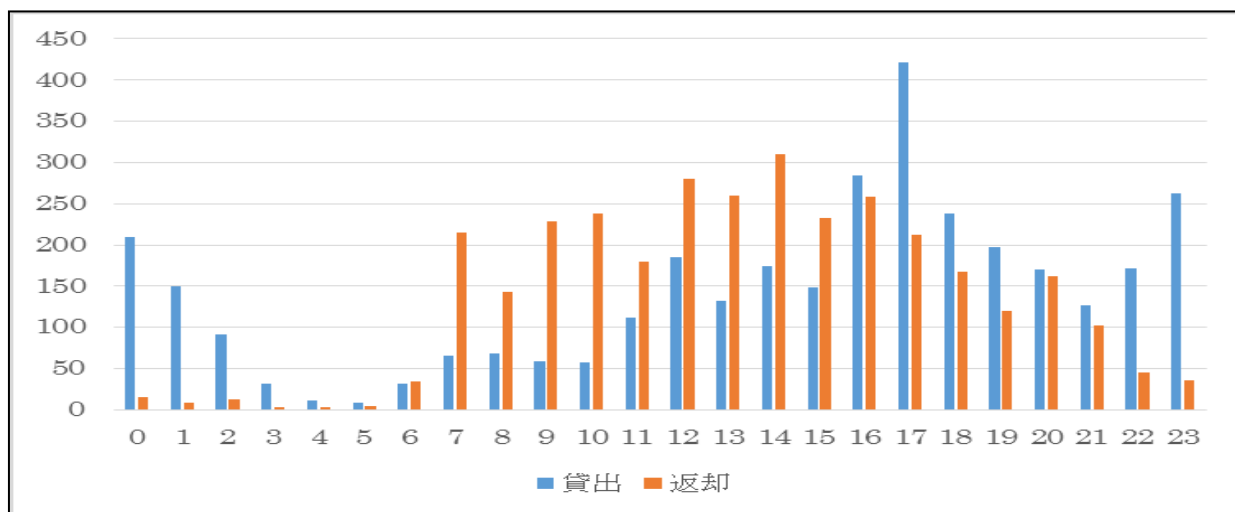


図 6. 時刻別貸出返却台数

今回我々が報告したシステムは、学生が使いたい時間帯に使えるという 24 時間運用のメリットが明確に現れている。

半面、無人運用には、盗難、紛失、長期未返却といったデメリットも懸念されるため、本システムでは、次のような対策を施している。

- (1) 貸出用パソコンを設置している部屋は、学生用のデスクトップパソコンが設置されている部屋であり、ICカードによる鍵管理、暗証番号による入室管理が行われており、部外者は出入りできない。
- (2) パソコンを学外に持ち出しても、パソコンとしての利用ができない。すなわち、
 - ・医学部キャンパスでは、プライベートアドレスを使用しているため、貸出用パソコンにはプロキシが設定されている（変更不可）。
 - ・windows ログインモジュールが LDAP を参照するため、キャンパスの外では認証エラーとなり、パソコンとしての利用もできない。
 - ・キャンパス LAN に接続していない状態では、個人プロファイルが使えない。
- (3) 無断持ち出しや又貸しをしたパソコンは、ログインすると、瞬快サーバに記録が残し、その学生が判明する。
- (4) 未返却への対応として、次のような対応をしている。
 - ・貸出期限（24 時間）が過ぎても返却手続きが行われない場合は、毎朝 6 時に自動的に催促メールが送信される。管理者にも同じメールが届く。学生は大学の ID のメールを日常的に使っているため、返却するまで催促メールを目にすることになる。
 - ・1 週間以上にわたって催促メールが送られていて返却されていない場合は、個別に手動で返却催促メールを送っている。
 - ・学生からの応答がない場合は、呼び出しをしたり、ID を一時停止することができる。（メールやデスクトップの利用もできなくなる。まだ実際に発動したことはない）。
 - ・パソコンは返却したが、システムに返却届けを出していないことがあるので、医学情報センターでは、随時巡回して、貸出返却システムの情報と保管庫のパソコンが一致しているかどうか確認している。

これまでに、無断持ち出し、又貸しの事例が数件発見され、瞬快サーバのログイン記録を調べて

学生を特定し、警告メールを送った後、返却されている。1 か月を超える長期未返却の事例があったが、催促メールを繰り返し送信して、最終的に返却されている。

運用開始前後に、無線環境でネットワークトラブルが多発した。通常のネット利用では、遅延はさほど問題にはならないが、個人プロファイルがサーバ上にある環境では、ファイルの読み書きやワードの編集などでも問題が発生し、致命的であった。

返却時に、保管庫の LAN ケーブルが接続されていない場合や、未返却のパソコンは、定期的な（深夜の）windows update ができない状態になる。瞬快のサーバで windows update の適応状況の確認ができるので、保管庫に向いて LAN ケーブルを挿したり、返却後に改めてメンテナンスを行っている。

この他に、構想はしていたが、実現できなかった機能として、返却 PC のオンラインチェック機能がある。確実にパソコンが返却されていることを確認するためのものであったが、LAN ケーブルや AC アダプタが接続されていなかったり、Wake on LAN 機能がうまく働かなかったり、ping 応答が得られなかったりと、うまく機能しない状況が発生したので、このチェック機能を外して運用を開始している。

この約 1 年の運用で、盗難、紛失や大きな故障は発生していない。小さな問題として、保管庫の出し入れが難しい、AC アダプタのケーブルを扉に挟んで破断した、などのトラブルがあった。

参考文献

- [1] 上田祥代、笹倉理子、図書館内に設置した PC 自動貸出ロッカーの利用状況、情報知識学会誌 Vol. 23、No. 2、2013.
- [2] Windows ログイン統合認証、コムネット <http://www.dbcom.co.jp/pdf/02-windows-login.pdf>

委員会／会議

平成 27 年

5 月	21 日	大学 ICT 推進協議会 2015 年度通常総会
	28 日	第 1 回学術情報拠点運営会議
6 月	11・12 日	学術情報基盤オープンフォーラム 2015
7 月	2・3 日	第 12 回国立大学法人情報系センター協議会総会、第 10 回研究集会（岐阜大学）
9 月	28・29 日	第 19 回学術情報処理研究集会（豊橋技術科学大学）
	29 日	第 2 回学術情報拠点運営会議
10 月	13・14 日	インターネットコンファレンス 2015
	30 日	第 3 回学術情報拠点運営会議
11 月	26・27 日	第 8 回インターネットと運用技術シンポジウム（IOTS2015）（千葉大学）
12 月	2・3・4 日	大学 ICT 推進協議会 2015 年度年次大会
	18・19 日	2015 年度 IS 研九州ブロック会

平成 28 年

1 月	7 日	第 4 回学術情報拠点運営会議
3 月	6 日	第 24 回国公立大学情報システム研究会(IS 研)総会
	29 日	第 5 回学術情報拠点運営会議

平成 27 年度業務記録（情報基盤センター業務）

業務日誌

平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

- [4 月] 大学院への学内進学者のメール転送開始
教育情報システムオンデマンド印刷運用開始
- [5 月] 昨年度退職者、卒業者 ID 停止
AlcNetAcademy2 サーバ OS バージョンアップ
- [6 月] 昨年度退職者、卒業者 ID 削除
利用者 ID の整理（不要な ID を削除）
WebClass バージョンアップ(Ver.10.00d)
- [7 月] 計算機室棟 1 階に無線 LAN 環境を整備した学生ラウンジをオープン
- [8 月] 情報基盤センターホームページをリニューアル
オンライン申請システム更新, LDAP 認証に対応
無線アクセスポイント稼働調査, 故障アクセスポイント交換
固定 IP アドレス管理者確認実施
Proself バージョンアップ(Ver.4)
Symantec Endpoint Protection バージョンアップ(12.1.6 MP1)
WebClass サーバ OS バージョンアップ(Debian GNU/Linux 7.8)
- [9 月] 技術職員研修
WebClass バージョンアップ(10.00g)
DEEPMail 脆弱性対策(OpenSSL)
- [10 月] Symantec Endpoint Protection バージョンアップ(12.1.6 MP2)
Symantec Endpoint Protection 利用促進のために旧バージョン利用者へ通知
AlcNetAcademy2 バージョンアップ(v.23)
前期離籍学生 ID 停止
- [11 月] WebClass に情報処理技術者試験学習用コースを開設
前期離籍学生 ID 削除
- [12 月] 学認サービス利用提供開始
WebClass に INFOSS 情報倫理 2015 -速習版- コースを開設
Symantec Endpoint Protection スキャンポリシー変更（定期的にスキャンを実施）
標的型メール対策説明会開催
- [1 月] 平成 28 年度情報教育システム（パソコン実習室）の予約開始
IE サポートポリシー変更の通知
- [2 月] 定年退職予定者へメール利用についてを通知
WebClass サーバ脆弱性対策(glibc)
サポートが終了した OS(WindowsXP, WindowsServer2003)利用者への注意勧告
- [3 月] 広報発行
利用者による固定 IP アドレス確認サービス開始
SINET5 へ移行
AlcNetAcademy2 修正プログラム適用
WebClass バージョンアップ(10.01c)

各種申請書受付件数

	(件数)
(1)「プリンタ利用申請書」(様式第 1 号)	86
(2)「固定 IP アドレス申請書」(様式第 2 号)	515
(3)「実習室利用申請」※Web フォーム	62
(4)「WebClass コース作成申請」※Web フォーム	249
(5)「ワクチンソフト利用申請」※Web フォーム	533
(6)「ホスティングサービス利用申請書」(様式第 3 号)	2
(7)「ファイアウォール開放設定申請書」(様式第 4 号)	18
(8)「サブドメイン名申請書」(様式第 5 号)	7
(9)「サブネットワーク申請書」(様式第 6 号)	0
(10)「無線 LAN アクセスポイント設置申請書」(様式第 7 号)	25
(11)「一時インストール申請書」(様式第 8 号)	0
(12)「メールリングリスト申請書」(様式第 9 号)	21
(13)「共通スケジュール作成申請」※Web フォーム	0
(14)「利用者 ID の利用停止申請」※Web フォーム	24
(15)「電子証明書の発行申請」※メール	13

お知らせ 『学生ラウンジオープン』

情報基盤センター（計算機室棟）1 階に学生ラウンジをオープンしました。

学内無線 LAN が使えます。飲食も可能です。学生の皆さん、ぜひ、ご利用ください。



平成27年度業務記録（医学情報センター業務）

平成27年4月～平成28年3月

- [4 月] 医学科・看護学科・大学院生・研修医オリエンテーション実施
日本医療情報学会九州・沖縄支部会 平成27年度春季研究会出席(福岡)
大学機関別認証評価の自己評価書案打ち合わせ
- [5 月]
- [6 月] PC・USBデータの取り扱いに関する講習会
仮図書館から図書館へPC移動
- [7 月] TV会議配線工事(オープン機器室)
基盤情報システムの更新について会議
再リースPCメンテナンス
- [8 月] プロジェクトマニュアル作成
- [9 月] 標的型メール攻撃の手口と対応策についての説明会
- [10月] 編入生オリエンテーション実施
自己学習室・標本学習室使用方法評価会議
BUNGOファイアウォール打ち合わせ
Fortigate(ps)の交換作業
- [11月] リリースステーション入替とOKI不具合についての会議
CBT試験環境構築（集中動作テスト）
国立大学法人等最高情報セキュリティ責任者会議出席(東京)
- [12月] 大学ICT推進協議会2015年度年次大会出席（愛知）
再リースPCメンテナンス
icom無線AP不具合対応
- [1 月] 個人情報保護研修
負荷分散装置の設定をノード単位からSSLセッション単位に変更
CBT試験環境構築2回（体験テスト、本試験）
看護学科講習会
PCとUSBメモリーの利用方法講習会(2年生)
- [2 月] 自己学習室・標本学習室使用方法評価会議
次期基盤情報システムについての会議
- [3 月] CBT試験環境構築(追試験)
非常用サーバHUB設定(オープン機器室)
基盤情報システム導入説明会

平成 27 年度 トラブル対応等件数

対応内容	内訳	件数
ウイルス駆除サポート		3
システム機器修理依頼件	PC	8
	スキャナ	4
	プリンタ	15
	キーボード	3
ネットワークトラブル改善対応件数	幹線通信機器トラブル	13
	無線認証トラブル	4
	meruAP	14
ウィルスソフト		25
個人 PC		32
プロキシサーバ(11)		2
ファイルサーバに接続出来ない		5
その他ネットワーク接続支援		22

平成27年度 ユーザ登録件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	129	5	7	11	19	4	9	9	8	7	11	56	275
変更	27	1	8	10	5	5	3	1	5	5	6	14	90
廃止	5	1	2	0	4	2	5	4	2	2	5	51	83
計	159	7	17	21	28	11	17	14	15	14	22	121	446

平成27年度 端末申請件数

新規	1119
変更	1099
廃止	276

平成27年度 ワクチンソフト申請件数

336件

発生日	区分	キャンパス	トラブル / 質問内容	システム区分	対応	完了日
2015/4/2	トラブル	全	PaperCut でのユーザの削除について、昨日ゲストユーザを削除したが、本日 PaperCut 側を確認したところ削除されていなかった。ユーザを削除した場合には必要な処理を教えてください。	プリント管理	30 分毎の同期では、削除処理まで行っていないことが分かった。そのため、今回は、手動で削除まで行える同期を行い、該当ユーザが削除されたことを確認した。同期時の削除に関しては、現在、LDAP から取り込む際のフィルタを検討しているため、そちらの検証時に併せて、スクリプトの検討を実施する。5/13 に設定済み。	2015/5/13
2015/4/3	トラブル	全	Mailgw からの Web サービスダウン通知が Delegate サービスが停止したために、届いた。	サーバ	原因は、delegate のログファイルが 2GB を超えたためであり、ファイルのコピーを行った上で、クリアを行った。(student サーバの cgi サイトへのアクセス)	2015/4/6
2015/4/6	Q/A	扶間	瞬快のスケジュールを見ると、0:58 に事前電源 OFF となっている。0:30 に瞬快のスケジュールを見ると、0:45 には 15 分前の予告メッセージが出るので、電源 OFF は、01:00 でないといけない。この時間に使っている学生がいた時に、予告よりも 2 分早くシャットダウンしてしまう。定期的 2 分前に電源 OFF する発想は何か。	瞬快	瞬快のスケジュールの電源 OFF が 0:58 のような中途半端な時間に設定されているのは、瞬快のスケジュール機能にある「電源 OFF」機能のみ、実際にシャットダウンを行うまでの予備期間 (単位: 秒) が任意の時間、設定できるようにしているためである。例えば、現在 0:58 (予備時間: 120s) に設定している、自己学習室の場合、0:58 になると、後、120 秒で PC がシャットダウンされますというメッセージが表示され、シャットダウンまでカウントダウンのダイアログが表示される。時間やようにシャットダウンを行う設定の場合、突然シャットダウンが開始されるため (ただし、0 秒は不可)。事前メッセージより後から来た学生や、メッセージ内容を忘れた学生が編集しているファイルが失われる可能性があるため、予備期間 2 分と設定している。	2015/4/8
2015/4/6	トラブル	扶間	学生が A4 両面 34 ページ (17 枚) 印刷したら 34 ポイント削除された。通常は、片面も両面も 1 枚 1 ポイントなのだが、調査をお願いしたい。	プリント管理	両面印刷、コピー設定の不備。両面時のポイントを以下のように変更。島岡先生のリストを基に該当ユーザに印刷ポイントの返却を実施。 印刷・両面 (カラー) A3: 10、A4: 5、デフォルト: 5・両面 (モノクロ) A3: 1、A4: 0.5、デフォルト: 0.5 コピー・両面 (カラー) A4: 10、デフォルト: 10・両面 (モノクロ) A4: 2.5、デフォルト: 2.5	2015/4/7
2015/4/7	Q/A	扶間	OKI プリントで、本体電源 ON になっているにもかかわらず、電源が切れていた。何度か液晶画面横の電源ボタンを押したが電源が上がらず、本体横の電源ボタンを ON/OFF にし更に液晶画面横の電源ボタンを押したら電源が上がった。	プリンタ	sleep 状態の時に学生が間違えて操作パネル横の電源ボタンを押した可能性もある。ハードウェアの問題がなさそうに確認中。5/25 に OKI にて詳細なログの収集を実施。ログの解析後報告予定。 今回の現象が発生している日時のログが、プリンタの電源が off された日時とはほぼ一致するため、電源 off ボタンが押されたことが原因と推測される。スリープモード等からの復帰時間については、以下の通り。 ボタンで復帰: 15 秒 カードで復帰: 4 秒 パワーセーブからの復帰 ボタンで復帰: 約 1 秒 カードで復帰: 約 35 秒	2015/7/6
2015/4/7	トラブル	扶間	プロキシサーバ 11 の設定にしているとネットワーク不具合が生じる。ブラウザで表示出来たりでなかったり、ping を送るとタイムアウトになる。	サーバ	sinet1sinet2サーバのプロキシサービスを順番に再起動 (サービスの停止なし)。ユーザが大きなファイルをダウンロードしていた可能性もある。	2015/4/7
2015/4/8	Q/A	扶間	瞬快コントロールにて端末利用者の ID が表示されないことがある。最新情報に更新を何度も実行しても表示されない場合がある。	瞬快	最新情報に更新は、サーバ上に保存されている情報の最新が表示されるだけで、その (サーバ上の情報) はリアルタイムで更新される訳ではない。リアルタイムでの最新情報を表示する場合は、F5 キーを押下してクライアントからの情報を取得する必要がある。	2015/4/8
2015/4/10	Q/A	全	あたらしい Newtech のファイルサーバが、ファイル名の大文字・小文字を区別しないようだ。ファイルサーバの設定が必要か？	ファイルサーバ	新しいファイルサーバは、Windows サーバそのものであるため、Windows の設定で NFS サーバの設定でレジストリを修正することにより、大文字/小文字を区別することができるようになる。4/21 に設定変更を実施し、既存の設定情報に影響がないことを確認済み。	2015/4/21
2015/4/14	トラブル	扶間	一つのファイルを何回も印刷指示をするとリソースステーションにて同じ名前前のジョブが上がるが、エラーメッセージが表示されて印刷が出来ない。エラー:「拒否理由: ドキュメントは最近印刷されたドキュメントの複製」と言うエラーが出て、ファイルでも拒否して終了 (ジョブから消える) する事しかできない。以前、同じファイルでも複数印刷指示が可能だった聞いた覚えがあるが、現状ジョブには上がるが印刷はできない。印刷する方法はあるか？	プリント管理	PaperCut 側で「重複印刷禁止」の設定が有効になっているため、発生している現象である。 「フィルタと制限」の画面一番下部にある「複製ドキュメント」の「次の時間内に送信された複製ドキュメントの拒否」のチェックを外して対応を実施。	2015/4/16
2015/4/15	トラブル	旦野原	実習室の PC で不具合が発生した。 (1) デスクトップまたはドキュメントフォルダのファイルを USB メモリに保存しようするとエラーが発生する (2) WordPad でファイルを保存しようするとアクセス拒否の画面が表示される	PC	ファイルサーバ上の個人のホームディレクトリ (ローカルのデスクトップを含む) から USB に保存する際に保存できない状況となっている。現状 USB が NTFS フォーマットの場合は、コピー可能。コマンドプロンプトからのコピーであれば、ファイルサーバから USB へはコピー可能というところまでは確認できている。 IO データのフリーストマッパ Copy を利用することにより、エクスプローラでもコピーが可能ということが確認された。	2016/3/23
2015/4/15	トラブル	旦野原	USB メモリが認識できない PC が複数ある。	PC	4/16 に BIOS 設定で下記を変更して現象が発生しなくなった。 項目: 詳細メニューの内蔵 USB3.0 コントローラ 値: SmartAuto → Manual 5/21 に再度同様の現象が発生したとのことで、詳細を PC のサポートセンターへ確認中。 5/21 の件は、マザーボード不良であったため、ハード交換により対応済み。原因不明のため、今後同様の事象が発生した場合は、ハード交換を実施予定。	2015/7/29
2015/4/15	トラブル	旦野原	WingNet を使って教卓 PC の画面 (PowerPoint/Excel) を学生に転送したところ、2 ページ目くらいまでは転送されたが 3 ページ目以降が転送されなかった。	wingnet	教員機の設定でマルチキャスト配信を使用しないチェックボックスにチェックが入っていないと発生することがあるようである。センター第 1 と第 2 実習室にこの設定を行い確認中。	2015/7/29
2015/4/16	トラブル	旦野原	・Wingnet を使って、教卓の音声が生徒に聞こえない → 教卓のヘッドフォンを予備のものに交換したところ、聞こえるようになったが、不安定な状態。聞こえるようになったヘッドフォンを使って別の PC で録音・再生を試みたところ録音ができなかった。 ・学生同士ペアを組んでの音声のやり取りができない → ために起動した 2 台では音声のやり取りはできたが、学生用 PC に接続されているヘッドフォンでも教卓と同じ状態のものがあるのではないかとと思われる。	wingnet	10 数台にて、ソフトウェアレコーダを使い確認したが、マイク、スピーカ共に問題は見つからなかった。再度、不具合が発生した場合は、号機 (list・・・・) を先生に控えていただき教えていただきたい。	2015/4/21
2015/4/16	トラブル	旦野原	・教卓で流した DVD の音声が生徒側に流れない → 音楽 CD でテストしてみた。マニュアルにしたがって、学生 PC を選択し、外部入力を選択したところ、CD の曲目一覧の画面が教卓 PC と学生 PC に表示され、音は教卓 PC には流れたが学生 PC では聞こえなかった。何か方法が違っているか？	wingnet	原因はライン入力のレベルが 0 になっていたためでした。講習会時にマイク録音のレベルが 0 になっていましたが、同様にライン入力のレベルも 0 になっていました。 こちらを上げることで学生 PC に音声が流れるようになりました。 ライン入力のレベルの変更を 21 日に実施。	2015/4/21
2015/4/16	トラブル	扶間	Windowsupdate の自動実行にて情報処理実習室の 60 台中 42 台で、実行中に強制キャンセルされたようである。	瞬快	強制キャンセルが行われた時間帯に瞬快サーバに Windowsupdate が適用され、再起動されたことが原因のようである。サーバの WindowsUpdate は、毎週木曜日の 23 時から実行するように設定されていたが、ポリシーの設定で「自動メンテナンス時にインストールする」にチェックが入っていると、スケジュールを無視して Windowsupdate が実行されることがあるようである。この設定を外して来月確認予定。 特に問題なしのため、完了	2015/5/14
2015/4/17	要望	扶間	貸出用 PC でユーザプロファイルが表示されないことがある。	PC	対応方法等について検討中。Wireshark を利用してデータ取得を実施しながら 6 月より仮運用開始予定 (調整中)。10 月中より運用開始。	2015/10/30
2015/4/23	トラブル	旦野原	教育福祉科学部の教員機で、Wingnet の画面が表示されない。	wingnet	Wingnet の教員機の画面設定で対応可能と思われる。教員機から Wingnet の環境設定機能で起動し、「環境設定」→「画面転送設定」→「操作画面の表示ディスプレイ設定」で設定内容をプライマリに変更することにより正常に表示。	2015/5/1
2015/4/24	要望	旦野原	PC 上で、外付け USB を共有に設定したい。	PC	共有設定を実施するには、Administrator 権限が必要である。一般ユーザ権限で実施可能かどうかについて調査中。	2015/4/28
2015/1/16	残課題・問題点管理表 項目 2 より 移管	扶間	tablet 内蔵読取装置で Felica カードの読み取りがほとんどできない。	タブレット	・プログラムの修正 ・現在の HP のオンデマンド端末を使用 2/17 時点で cosy 側で修正したプログラムが動作しなかったため、最終的には下記のどちらかの対応を実施するが、当面は、現在の HP のオンデマンド PC を利用して対応。下記対応時期については、別途相談。 ・ソフトを開発し、タブレットの内蔵リーダで読めるようにする。 ・COSY が販売しているリソースステーションを利用する。 ソフト開発の方向で 4 月中旬までに対応予定。 Felica IDm を読み取るフリーソフトの情報をいただき、引き続き検証を行う。 4/下でソフト開発の可否を判断して、今後の対応につきまして、打ち合わせをさせていただきます。 現在、事業部にて IDm 番号を読む件について確認中。確認後、報告予定。 COSY にて調査/検証を行ったが IDm を読めない原因を解明できず。事業部にて確認を行ったが富士通のシステムでは、IDm の読み取り問題なく。COSY のソフトで何故上手く読めないか不明。 「タブレット + 外付けリーダ」または「COSY 製リソースステーション」での対応を相談中。 「COSY 製リソースステーション」での対応で確定。対応日について日程調整中。 No.443.444 の対応時に、ソフトをインストールし既存の端末と交換予定。 リソースステーションのマニュアルを提供済み。29 日に 1 台セットアップ予定。 11/11 に残り全台の人替作業を実施。	2015/11/11

発生日	区分	キャンパス	トラブル / 質問内容	システム区分	対応	完了日
2015/2/27	残課題・問題点管理表 項番 15 より 移管	旦野原	旦野原 PC の起動時間が、まだ全体的に遅い。もう少し改善したい。	PC	図書館の DHCP 取得までが遅い件は、接続されているハブのスパンニングツリーの設定を行うことにより、ほぼ改善。 教室全体については、イメージの調整、サーバのエイコントローラカードの設定の見直しを予定。 ローカル PC のディスクキャッシュが遅いことが原因の可能性が高い。 ディスクの問題（システム未対応）で遅いかどうか、PC を開発元に送付して確認中。 ディスクの対応では、15% 程度しか改善されなかった。ログイン画面の表示までは、OSV のモジュール調整により、20 秒程度改善された。その他改善できないか検討中。 ユーザログイン時に生成されるストアアプリがログイン時間を大幅に遅らせていたため、不要なストアアプリを削除することにより、ログイン後 2 分程度で利用できるようになった。	2015/6/19
2015/4/27	要望	旦野原	旦野原 PC 教室の PDF Reader のデフォルトを Windows Reader から Adobe reader へ変更して欲しい。	PC	教室 PC の PDF Reader のデフォルトを adobe reader へ変更方法を確認中。Windows が自動的にストアアプリの「リーダー」を規定としていましたが、428 の実施により「adobe reader」を規定とする設定が有効になった。	2015/6/19
2015/5/8	Q/A	旦野原	教室 PC の書画カメラの画像取り込みについて教えてほしい。 実習室教室の書画カメラの映像をプロジェクトに映すのに、PC-SDVD/U2G を使って PC 経由で表示させていた形跡があった。 PC には、上記機器のドライバがインストールされていた。マニュアルによるとその他に MonitorMode というソフトをインストールすれば書画カメラの映像を取り込めるようだが、今の状態（ソフトの追加インストールなし）で書画カメラの画像を取り込むことが可能か。	wingnet	Wingnet を利用し、「外部入力」ボタンの横にソース選択のドロップダウンメニューがあるので、先生 PC 背面のラインイン端子に何も接続されていない教室では、(S) とされているほうのフルスクリーンまたはウィンドウを選択することにより可能。	2015/5/11
2015/5/14	Q/A	挾間	挾間キャンパスの PC で、夜間の WindowsUpdate 実行後、修復無効モードで停止しているものが 10 数台あった。	PC	現象が発生した 14 台のうち 3 台は、update 中に学生によりシャットダウンされたと考えられる。残り 11 台のうち 2 台はシャットダウン処理中にハングアップしたと考えられる。残りの 9 台については、いずれも Windowsupdate 処理は終了して、再起動命令を受け取った後、動作しなくなっている。いずれも OS もしくは、Windowsupdate 処理の問題（実際に今回のパッチ適用後ハングした事例が報告されている）と考えられるため、再修正を待つが次回も発生するようであれば、瞬時に再起動処理が必要と思われる。	2015/5/27
2015/5/14	Q/A	挾間	OKI プリンターのトナーを交換後、大量の印刷物が排出されたと言う問い合わせがあった。 印刷中の情報を消す方法とプリンターに印刷待ちの情報が残らない方法を教えて欲しい。	プリンタ	OKI プリンタのジョブのキャンセル方法について資料を送付済み。 印刷中の情報を削除するには、プリンタの電源を切断する必要がある。	2015/5/15
2015/5/15	Q/A	旦野原	CALL 教室にて下記の現象が毎回ではないがかなりの頻度で発生。 現象 (1) レポートを配布 60 名程度 (2) レポートを回収 (3) しばらくしてレポートを再回収しようとして、上書き回収を選択すると (2) で回収したフォルダが、表示されずに上書き回収ができない。この時、他の共有フォルダ (WINGNET 上) のを見えない。その後、パソコンを再起動するとフォルダが表示され、正常に上書き回収ができる。	wingnet	考えられる内容を確認していたが、該当していないようである。サーバ側、クライアント側のログから確認する必要があるため、ログの回収方法について設定を実施し、ログが取得され次第、送付、確認作業を実施する。 エラーメッセージの内容から wingnet サーバへのネットワーク接続が切断されたためと考えられる。原因については、不明であるが、共有フォルダへのアクセスがデフォルトで 15 分で切断されていると思われるため、切断までの待ち時間を 120 分へ変更して状況確認中。	2015/7/29
2015/5/15	Q/A	全	あるアカウントからきたメールの差出人が文字化けしている。	メール	ディープメール側で、アカウントが作成される際に名前に入れる文字の形式が UTF-8 で入力されたため、文字化けが起きたと考えられる。もし UTF-8 形式で文字を登録する場合には最後に c-ut8 を付ける必要がある。このオプションについては、導入時のマニュアルに記載がなかったため、最新のマニュアルを入手し、コメント欄の登録プログラムを修正。	2015/5/20
2015/5/28	トラブル	全	基盤情報システムの NewTech ストレージが、readonly になっている。 このファイルサーバに Web でも SSH でも接続できない。 どうしたらいいか？	バックアップ サーバ	5/28 は一旦シャットダウン後、再起動することによりアクセス可能となった。 いくつかディスクがエラーとなっていたため、リビルド完了後、全てのディスク、カード関係を抜き差しする作業を実施。合わせて F/W アップデート作業を実施。 正常に動作しているため、今回は、ハード交換の実施は行わない。	2015/6/10
2015/5/28	トラブル	旦野原	旦野原の PC 教室にて、ファイル保存時に psetup が default 値になってエラーとなる現象が、WING-NET の教材登録でも発生した。	PC	Windows のライブラリ機能により、プロファイル作成ユーザ psetup の各種ドキュメントフォルダが、保存先として表示されエラーとなっていた。ライブラリから削除した。wingnet, paint, wordpad を合わせて修正を実施。	2015/6/19
2015/6/1	Q/A	旦野原	情報棟 2F 第 2 実習室のプロジェクトを取り換えた。そのままでは、ディスプレイの表示がミラーにならず、拡張モードで表示されてしまうため、現在は旧プロジェクトのエミュレートモードで動作している。 ・教員機のディスプレイの表示モードを新プロジェクト接続でミラーに設定したいが、こちらで設定可能か？可能であれば方法を教えてほしい。 ・ディスプレイ分配器を入れてはどうかという話がある。1 教室(もしくは 2 教室)だけ、アナログ RGB のみで分配器を接続してもイメージ上問題ないか？	PC	ハードウェア接続情報は個別に認識する。接続される機器毎に接続して設定を行う必要がある。分配器を入れる場合も同様で差異を認識して動作する。手順についてはイメージの更新方法は通常と同じであるが、当該機に更新用 vDisk イメージを割当てて更新する必要がある（詳細手順は別途連絡）。またプロファイルの変更は発生しない。	2015/6/3
2015/6/10	トラブル	全	ディープソフトのウィルス検査のパターンファイルのアップデートに 7 回連続で失敗している。	メール	アップデート失敗の件ですが、ディープソフト社内のアップデートサーバにて障害が発生していたため。 ■障害時間：18:10 頃～20:30 頃（約 2 時間 20 分間） 20:30 頃に復旧完了しており、現在はアップデートに問題は発生していない。	2015/6/10
2015/6/17	トラブル	全	LDAP から削除した職員が PaperCut 側に残っているが、削除の同期に何か条件があるか。	プリント管理	学生及びフェリカカード登録者以外は、全て削除対象となっている。学生は全て削除されているようなので、確認を行う。残っていたのはセンター管理者のための、一旦完了。	2015/6/22
2015/6/22	トラブル	旦野原	旦野原 PC にてパソコンが起動中のま利用できなくなった。	PC	6/18/19 で作業を行った後、差分ファイルがなんらかの原因でマージされず更新できなくなった。6/18 時点のイメージに戻し、6/18/19 分の作業を適用して差分ファイルを作成しない設定で仮運用中。現在マージ処理が行えない原因、根本原因については、調査中。 原因は、OSV の差分ディスクを管理する機能に内部バグがあり、管理データベースは本来ネットワークではずの差分ディスクを管理するレコードが複数作成されるデータベース内の不整合が生じた。以降は、起動時にベースディスクと複数の差分ディスクを補定しながら起動を試みるが、起動不全に陥ったと考えられる。事象に基づき対応を行った修正パッチをメーカーより入手して、適用作業を 7/19 に実施。	2015/7/20
2015/6/24	要望	全	Proself のバージョンを V.3 から V.4 にバージョンアップして欲しい。	proself	バージョンアップを実施するので、サーバのバックアップ等を実施し、長時間停止したい。できれば大学が休みとなるお盆前後が望ましい。8/14 で調整したい。	2015/8/14
2015/6/29	Q/A	全	6 月 25 日 12:02 に送信したメールが、(reason: 554 Transaction failed. It failed to parse the mail) というエラーになった。 ajimu1 のログを見ると、proself にメール本文を送り始めて、突然、切断されたように見える。proself の状態を調査してもらえないか。	proself	サーバの CPU、メモリ、ディスク IP 等の負荷は当該時間帯には、ほとんどなかった。Proself 側のログを確認したところ添付ファイルのファイル名が正しく解釈できなかったために Proself にアップロードできずエラーが返ってきているようであった。対象となったメールの添付ファイルの文字コード等がどのようなものだったかはログに記録されていないため特定はできなかった。	2015/7/2
2015/6/29	Q/A	挾間	OKI のプリンタにて 1 人のユーザが、同時に 2 つの印刷を実行しようとしたところ、1 分以上かかる。印刷物によっては、5 分以上かかっているものもあるようである。	プリント管理	OKI プリンタにてハードウェアチェックを有効にし、複数のジョブを一齐に印刷すると同様の現象となることが判明。ハードウェアチェック有効時に正常に印刷が行えるよう調査中。暫定対応として OKI プリンタのみハードウェアチェックを外している。(7/1) 8/11 に修正適用を実施した。ゼロックスプリンタについては、現象が改善されたが、OKI プリンタについては、まだ現象が改善されないことがあるため、再度修正を適用予定 (8/28)。 COSY、沖、SCSK にて検証作業中、9/ 末までの対応は間に合わないため、10 月の出来るだけ早いタイミングで対応を実施する予定。 OKI にて再現できなかったため、11/9/10 で現地に検証予定。 11/10 に SCSK、沖、COSY にて不具合調査の報告を実施。同日、現象が再現したため、データを持ち帰り調査し報告予定。ファームウェアのアップデートを実施。今後、下記の内容を確認し対応の予定。 [新ファームウェア環境における残確認事項 [沖データ] ・旧ファームウェアと比較して改善はしているが、新ファームウェアでも prtMarkerLifeCount の get-request に対する応答時間が徐々に遅くなる現象は発生している。 ・ get-request が、9 秒よりも短い間隔で発生した場合の応答時間の最大値を保証することはできない。 ・ 応答時間の累積的な遅延を発生させないためには、prtMarkerLifeCount の get-request の間隔を 9 秒以上にする必要がある。 [PaperCut] ・ PaperCut の設定により現象の発生を回避する方法がないかを PaperCut 社、COSY と OKI データで検討する。回避方法がある場合、PaperCut の運用上でも他機能への影響や利便性の低下がないかを検討する。 OKI の最新ファームウェアの提供が、4 月中に提供できそうであるため、日程について調整。	2016/6/27

発生日	区分	キャンパス	トラブル / 質問内容	システム区分	対応	完了日
2015/6/29	Q/A	狭間	OKIのプリンタにて1人のユーザが、同時に2つの印刷を実行しようとしたところ、1分以上かかる。印刷物によっては、5分以上かかっているものもあるようである。	プリント管理	新ファームウェアに Update したことで、同現象の大幅な改善を確認。 → 2/9 状況の説明及び、HWC (Hardware Check) を有効化し、動作検証をさせて欲しいとの相談を行う。 → 高岡先生より、遅延が発生した際に管理者への通知が行える仕組みを提供可能であれば、有効にしても良いとの回答を頂く。 → 上記仕組みを実現可能か、OKI・COSY・SCSK にて協議。OKIより、プリンタ側での提供は難しいとの回答あり (2/17) → その回答に伴い、COSY・SCSK で検討したところ、SQL への問合せをスクリプトで実行することで、理論的には実現可能との見解となる。ただ、タイミングや処理が、複雑となり現環境に実際に組み込むことが可能かどうか、また、想定している通知が可能かどうか含め、検証を実施中 (遅くとも 3/11 までに結論を出す予定)。 → 項番443記載どおり、改良ファームウェアが4月上旬にリリース予定のため、HWC 有効化は、新ファーム導入後、有効化を予定。実際の作業日程については、ファームウェアリリース後、動作確認を行い調整を予定。GW 明けにリリース予定。 修正ファームが準備できたので、適用日について調整予定 (OKI の技術者による対応となる)。 6/27 にファームアップ済み。	2016/6/27
2015/6/30	トラブル	狭間	OKI プリンタでコピーを行っていないのに、ログにコピーを行ったログが記録されている。また、コピー分ポイントが差し引かれている。	プリント管理	COSY、OKI にログを送付し、調査中。443 と同様と思われる。 本現象は、ODCA に関する PaperCut と装置間のコネクションをとることができない状態になっていたことで、コピー/スキャンのログが PaperCut のジョブログに記録されない現象が発生していたものと推測される。 11/10 に適用した FirmWare が、上記発生していたエラーについて対応されていることを確認済み。	2016/11/10
2015/7/1	Q/A	狭間	瞬時の管理画面で、電源が切断されているのに起動しているように見える PC がある。	瞬快	瞬快 V10 からの仕様で、瞬快のコンソール機能からシャットダウンした PC は、F5 キー押下により即時にシャットダウンの状況が反映されるが、PC からシャットダウンを実施した場合は、F5 キーを押下しても反映されるまで、5～10 分程度かかる。	2015/7/8
2015/7/12	Q/A	狭間	Forigate で Disk ログが取得されていないように見える。	FW	アンチウィルスログについて、disk ログを表示させた際に表示されるログが少ないようであるため、サポートセンターへ問い合わせ中。 7/10 以降のログしか保存されていないように見える。ログの容量としては、7/14 時点で 123MB あったので、保存場所が他にないか確認中。 FW を再起動しても過去ログが表示されないようであれば、ディスク交換も検討。 7/10 以降のログは正常に表示されているが、念のため筐体ごと交換を実施。(9/17) 9/23 の深夜より「ログディスクに書き込みができなくなる恐れがある」といったメッセージが届いている件については、調査中。9/27 早朝メッセージは停止。 ディスクの Throughput Performance にて、しきい値を下回っている値が記録されていることが確認出来た。この理由により、メッセージが出力されていたと考えられる。現在はメッセージに出力が停止しているのであれば、一時的に処理が遅くなっていた可能性がある。 10/7～10/10 にかけて再度メッセージが出力されたため、10/15 に再度ハード交換を実施。	2015/10/15
2015/7/12	Q/A	全	ある I D のメールの送信記録が、別の I D の送信トレイに入っている。	メール	Web メールは Cookie を基盤としてセッションを管理しており、1 ブラウザで複数のアカウントでログインした場合には後からログインされたセッションのみ有効になる。つまり、先にログインされた ID のセッションは後からログインされた ID のセッションを引き継ぐ(上書きされる)形となり、無効となるため、1 ブラウザでは複数のアカウントで同時に利用することができない。 複数のアカウントで利用される場合には、IE の InPrivate ブラウズ機能を有効にするかそれぞれ異なるブラウザを利用頂きたい。	2015/7/14
2015/7/14	トラブル	全	proself に、firefox の最新版で、接続すると、以下のエラーが起きます。暗号化のキー長が短いと言っているようだ。電子証明書ではなく、その後の暗号化の過程で起きているようだ。proself は、どこを修正すればいいか？ fg.cc.nita-u.ac.jp への接続中にエラーが発生しました。SSL received a weak ephemeral Diffie-Hellman key in Server Key Exchange handshake message. (エラーコード ssl_error_weak_server_ephemeral_dh_key)	proself	先日リリースされた Firefox 39.0 にて行われた logjam 脆弱性対応にて、DHE (Diffie-Hellman 鍵共有) が含まれた暗号化スイートでの HTTPS 接続が拒否されるような結果、以下の条件をすべて満たす環境で Firefox から Proself に対して HTTPS 接続が出来ない事象が確認されている。 1.Proself サーバーにインストールしている Java のバージョン が Java6 UpdateXX である 2.Proself インストールフォルダ /conf/server.xml 内 92 行目付近 [ciphers=～] 内を変更していない Java および Proself を最新版にアップデートするか、/usr/local/Proself3/conf/server.xml に ciphers= . . . の行を追加する必要がある。	2015/7/16
2015/7/16	トラブル	全	前回と同様と思われる現象が再発した。不具合が発生したメールの添付ファイルを添付するのて調査して欲しい。	proself	メールでは日本語のファイル名の場合はエンコードされるのですが、1 行に 2 回エンコード処理が行われた場合の考慮不足で問題が発生していました。イメージとしては以下の通りです。 [エンコードされた日本語]< 英語 >エンコードされた日本語< 英語 >のような場合が該当します。 DeepMail 以外のメーラーでは上記のような場合日本語と英語をまとめてエンコードする挙動でイメージとしては [エンコードされた日本語と英語と日本語]のようになり問題が発生していませんでした。 Proself の V.4 にて修正提供済みのため、8/14 のバージョンアップでの対応としたい。	2015/8/14
2015/7/29	要望	全	ウィルス対策ソフト、deepmail、webclass、ALC NetAcademy の Windows10 対応の時期について教えて欲しい。	各システム	シマンテック：7 末に対応版出荷。8/11 に適用作業実施 (12.16.1) deepmail：Windows10 上の IE11 については、対応可。Edge については、下記の不具合修正版のモジュール作成し適用済み (10/26)。 「ファイル名、フォルダ名に 2byte 文字が使われている場合、ダウンロードやエクスポート後のファイル名、フォルダ名が文字化けする。」 Edge については、新たに報告された問題や不具合等の事象に対しては検証の上、対応可否を検討予定。 WebClass：Windows10 上の IE11 及び Edge 対応についても最新版 (10.00g) にて対応済み。 ALC Netacademy：現在のバージョンでの保障はないが、8 月中に Windows10 上の IE11 の検証、9 月以降に Edge での検証 (動作確認) 予定。IE11 は、検証がほぼ完了しているが、Edge については検証が遅れている。IE11 については、互換表示設定をすることにより、学習者、管理者共に動作に支障がないことを確認済み。Edge については動作保証外。	2015/12/24
2015/7/29	要望	狭間	狭間キャンパスの DHCP サーバのログで詳細情報が取得されていないようにみえるので、調べて欲しい。	DHCP	ログの大半が DNS の更新要求と失敗のため、まずはこのログが書きこまれないよう、DHCP サーバ側の DNS 動的更新の設定を行わないようにして確認する。	2015/8/26
2015/8/1	要望	全	DNS サーバ BIND の脆弱性対策が公開されたので、サーバに適用して欲しい。	サーバ	8/3 に外部 DNS サーバ：mailgw. octdns. 内部 DNS サーバ：dns. mail で bind のバージョンアップ作業を実施。	2015/8/3
2015/8/12	トラブル	狭間	ms と w2 サーバからリカバードエラーのメッセージが来て、サーバが停止しているようである。	サーバ	8/3 にディスク交換を実施。12 時過ぎに順次復旧。原因については、今までと同様ハード障害に伴うものと考えられる。別途報告予定 (9/17)。 9/17 に下記の内容について報告 ・メディアエラー多発に伴うスローダウン抑止ツール (RAID ディスク切り離し) について説明。ツールの適用日程調整中。 ・ハードウェア保守体制について説明。 ・点検作業について説明。 10/21 にディスク切り離しツールの適用作業実施。	2015/10/21
2015/8/9	要望	全	121-RU6-MP1 未満の 121 には、脆弱性があるという情報が出されているが、121-RU6-MP1 へのバージョンアップ作業を早急に対応して欲しい。	ウィルス対策	Windows10 対応版として、インストール日の調整を行っていたが、8/11 に作業を実施する。	2015/8/11
2015/8/17	トラブル	全	プリントサーバの認証を AD からドメインに変更した後、教室でプリンタが表示されない学生がいる。	認証	Samba サーバとユーザのパスワードの不整合があり認証に失敗していたため、該当者を洗い出し修正済み。2013 年 4 月の認証システムのバージョンアップ直後のプログラム障害により発生していた。	2015/8/17
2015/8/18	Q/A	全	メール転送のコピーフォワードは、マスター画面にて設定するにはどうしたらいいか？	メール	[オプション]>[メール転送]>転送メールを自分のフォルダに残すという設定であれば、次の管理画面から設定することが可能。 1. [Service]>[グループ/ユーザ管理]>[ユーザアカウント]タブを選択 2. 設定を行うユーザの詳細情報 [View] を押下 3. ポップアップされた画面から [メール転送] タブを選択した後、[自分のアカウントにコピーを置く]にチェックを入れる 4. 画面右下にある [閉じる] ボタンを押下	2015/8/19
2015/8/19	Q/A	全	特定のユーザで android 携帯にて (キャリア au) deepmail にログインを行うとエラーメッセージが表示されログインが出来ない。 「ユーザセッションが解除されました。」 他の android 携帯で試しましたが、問題なくログインが可能だった。 何か解決策はないか？ また、オプション→個人環境の設定→モバイルの設定は必要か？	メール	・ブラウザのキャッシュの影響による事象と思われるのでまず、ブラウザ側のキャッシュや履歴を削除頂き再度確認をお願いします。 ・モバイルの設定は通称ガラケーと呼ばれる携帯電話用の画面からログインするための設定のため、スマートフォンでのログイン時には設定は必要ない。	2015/8/19

発生日	区分	キャンパス	トラブル / 質問内容	システム区分	対応	完了日
2015/8/19	要望	狭間	狭間キャンパスの PC に MS15-093 の緊急修正を適用して欲しい。	瞬快	8/23 に WindowsUpdate が実行されるようにスケジュール設定を実施。	2015/8/23
2015/8/20	Q/A	旦野原	Netkaleido のタスクが、8/18 (火) から、3 日続けて電源投入のタスクが失敗となっている。また Netkaleido からステータスが見えず、PC の電源がすべて OFF になっている。	PC	システム起動時に実行される client_polling タスクの直前の実行結果が (0x103) となっていたため。client_polling タスクを起動することで Netkaleido からステータスが取得できるようになった。	2015/8/21
2015/8/24	トラブル	旦野原	教育学部の教室で WING-NET を使って画面転送を行ったところ、すぐに PC がフリーズをしてしまったとの連絡があった。PC を再起動させて復旧したが同じことを行ったところ再度フリーズしたようだ。またその際、フリーズしたのは 1 台ではなかったようだ。	PC	No.420 で発生した Wingnet で教員機のマルチキャストの設定を使用しないにチェックが入っていなかったために発生した現象と同じと考えられる。情報センター以外の教室についても順次この設定を行う。教育福祉、経済の各教室については 9/3 に対応済み。LL 教室は、情報センター実施時に対応済み。	2015/9/3
2015/8/25	Q/A	全	newtech のストレージ (新しいほう) は、ファイル名に「:」(コロンの) が、使えないようだ。 古いほうの Newtech ストレージは、コロンも使える。	バックアップ ファイルサーバ	Newtech のファイルサーバの OS が linux ベースから windows ベースへ変更となったため。半角の: は利用できないが、全角も利用できないでしょうか。rsync でのコピーでファイル名の変更も行えなかったため、旧 Newtech 側のサーバの領域を 15TB 増加し対応。	2015/9/11
2015/8/26	トラブル	狭間	教育情報で導入した貸出用 PC のうち 1 台が、起動しているとき 1 分 30 秒おきくらいに DHCP サーバへ問い合わせに行っている。	PC	ノート PC の無線 LAN ボードの問題かと思われるため、交換を実施。交換後問い合わせ回数は、他の PC と同じくらいまで減少した。	2015/9/2
2015/8/26	要望	狭間	狭間キャンパスのファイルサーバ上のユーザーホーム領域の残りがかなり少なくなっている。	ファイルサーバ	未使用のディスク 2 本分 (約 900GB) を追加割り当て済み。	2015/8/27
2015/8/31	トラブル	狭間	PDU から 2 回通信切断のメッセージが届いているので調査して欲しい。	アラクサラ	PDU の問題ではなく、その前に送信されているアラクサラとの通信切断により、PDU との通信切断が発生していたためであった。アラクサラの方は再起動がなかったことが通信切断の原因で、ログの解析結果より、「Web 認証で、未認証端末から特定の POST データを受信した場合、装置が再起動する場合があります。」という障害に該当しており、改善するためにファームアップを実施する必要がある。10/12 に該当機種全てのファームアップを実施。	2015/10/12
2015/9/1	Q/A	旦野原	教員 PC から学生 PC に同じ ID を使って一斉にログインすることはできないか？ 他の大学におられた先生が、元の大学ではできたが、分大大学ではできないと言われたが、本学では認証の関係等でできなくなっているということか？	wingnet	教員 PC からの指示で学生 PC の一斉ログインは、通常仕様の Wingnet では可能であるが、分大大学様の PC には、コムネット社の「アカウントマスター」というログイン画面のカスタマイズが組み込まれているため、Wingnet の一斉ログインが使用できないとなっている。	2015/9/1
2015/9/4	修正適用	全	ディープメールについて下記の 2 点に関する修正の適用実施。 ・今後 OpenSSL にて新たな脆弱性が発見された場合は、今回新規設置する OpenSSL のライブラリのみ入れ替え、各サービスを再起動するだけで対応可能なように仕組みを改善。 ・マルチドメイン環境にて、管理者インターフェースにドメイン管理者としてログインした際に特定の操作が行われた場合、目ドメインとは違う他のドメインに対しての一部機能の操作、及びシステム管理者としての一部機能の操作が可能となる件の修正。	メール	9/16 に修正の適用作業を実施。特に問題なし。	2015/9/16
2015/9/7	Q/A	全	サポートデスクより下記のアラーム通知が届いているが、狭間キャンパスに関係するものか。 ■アラーム通知情報 ・ユニーク名 : ・機種名 : ET08E21A ・号機 : 4311045576 ・インシデント番号 : 150907300159 ・発生日時 : 2015/09/07 05:28:47 ・通報内容 : RMS9001E-0150 UNITID=00ETERNUSDXL##ET08E21A####MA4311045576##P 80600105 Disk Drive DE#01-Disk#5 (SAS 600GB 15krpm RAID1+0) Fault <ST3600057SS 3SL10VYH1214 GF0B> [111] IL	ファイルサーバ	エラー自体は、旦野原キャンパスの DX80 から発信されており、ディスク障害の通知である。サーバ関係で共通に関係するものについては、両キャンパスのセンターと富士通 SASE.CE にメールが届くようになっているが、宛先には全員分が表示される訳ではない。	2015/9/7
2015/9/8	要望	狭間	同意会メールサーバ (Gweb: 1.25) について外部公開するにあたり、下記の設定を実施して欲しい。 ・公開対象 : 学外全てへ ・公開サービス : IMAP (993/tcp) ・公開対象 : 学外全てから ・公開サービス : SMTP (465/tcp)	同意会メールサーバ	ファイアウォールに左記設定を実施後、サービスの設定を含め動作確認予定。暗号化するかどうか確定次第、設定作業実施予定。別の方法で実施。	2016/3/23
2015/9/8	トラブル	全	ldap2, sinet1, ups 2 台からボーリングエラーが届いている。	監視	監視サーバ上で動作させていた exping (フリー) が異常終了しており、CPU、メモリの使用率ともに 100% に近い状態が続いていた。監視サーバ再起動後、CPU、メモリ使用率ともに半分以上となり問題なく動作している。	2015/9/8
2015/9/9	Q/A	旦野原	教育の先生から教育システム PC のブラウザ (IE) で Java のアプレットが動かないとの指摘がありました。 こちらでテストしてみたところ、以下の状況でした。 ・エラーやワーニングは何も表示されない ・アドオンの Java は有効になっている ・新規で Java (jre) を上からインストールしてみたところ、アプレットは正常に動作する。 今回のシステムインストール時に ・Java のアプレットを動かさないようにしている ・署名のないアプレットは動作させないなどの制限がありますでしょうか？ また、JRE をインストールしなおすと動作するのですが、バージョンが若干変わります。1.8.0_31 => 1.8.0_60 JRE のバージョンが変わると問題が起きそうなところがあれば、教えてください。	PC	Oracle の Java のテストサイトで確認は行っていました。Java アプレットの抑止は行っていますが、Java のバージョンが古い場合に IE が動作を抑制することがある様である。今回はこのパターンと考えられる。更新手順は下記の通り。 ・JRE の最新版 32bit 版をインストール ・JRE の 64bit 版を削除せずに残す ・バスの先を JRE64bit 版に戻す ・プロファイル更新手順 Java のメジャーバージョンが変更されない限り、公開されている Java のプログラムはほとんど動作すると考えられる。Java コンソールの件は、64 ビットと 32 ビット共存の場合は 64 ビットを優先する様なので、直接 32 ビットのコンソールを起動する必要がある。 C:\Program Files (x86)\java\jre_XXX\bin\javacpl.exe ※ XXX は (1.8.0_60 など) インストールバージョン。	2015/9/9
2015/9/15	要望	全	また、メール領域がちょっと危うくなってきた。他の領域から回せることが可能か。	メール	空きディスクがないため、既存の他の領域から切り出してメールの領域に割当てることが可能。切出し可能なのは (空きがあるのは)、proself の vol4。この中から今後の運用を考慮し 500GB の領域をメール領域に割り当て。	2015/9/15
2015/9/25	トラブル	狭間	昨日から無線の利用が出来ないという事で学生から連絡があった。 昨日 17:00 頃に問合せがあり、その時に確認しましたら無線 AP に対して ping 確認・webGUI の機能にてブラウザで管理画面にログインすることも可能だった。本日確認するとブラウザで管理画面を表示できなくなり、ping も送れない。	無線 LAN	福利施設 2F 廊下 AP の電源再起動を行うと接続できるようになりブラウザにて管理画面を表示することができた。 機器のファームで同様の故障が改善されたとの情報があったので、5AP のファームウェアを 3.11 から 3.46 にアップした。	2015/10/1
2015/9/27	要望	全	シマンテックのポリシーのデフォルト設定を変更して欲しい。	ウイルス対策	変更内容については、いずれもサーバのポリシーの設定変更で可能。いたっている設定内容であればいつでも対応は可能。狭間キャンパス分は、9/28 に対応済み。 旦野原キャンパス分については、確認待ち。 旦野原キャンパス分については、狭間キャンパスのグループ下に別のグループを作成し、移動する。教室 PC やサーバ関係等は、今のグループでそのまま利用する。グループ名の変更、別グループへ PC を移動する作業は、大学様で実施。	2015/12/1
2015/9/30	トラブル	旦野原	今朝、実習室 PC が数十台同じ状況で起動しない現象が発生した。起動しなかった PC はすべて boot1 サーバに接続しようとしていた。ちょうど説明会が開催されており急ぎの対応が必要だったため、boot1 サーバを再起動した。再起動後、正常に起動するようになった。 Netkaleido のタスクにエラーはなかった。 OSV の差分ファイルもないようだ。 サーバのイベントログを送る。他に原因調査に必要な情報があれば知らせてほしい。	OSV	本来、プライマリサーバのサービスが停止した場合にセカンダリサーバが代替する冗長設定を行っていますが、想定外の終了であったためプライマリサーバに接続したクライアントが起動出来なくなっていた。取り急ぎの対処として、Windows のサービス設定から OSV のポートサービスの [回復] の設定をエラー時に再起動) として頂けないか。原因については、調査中。 他ユーザでも同様の現象が、バックアップ時に発生することが判明しているが、根本的な解決は難しいようである。引き続き解決依頼は行っていくが、対処後、同様の事象が発生していないため、一旦完了とさせて欲しい。 しばらく様子見。	2016/10/26
2015/10/4	要望	全	最新の MacOS 10.11 に対応した Symantec Endpoint Protection 12.1.6 MP2 が公開されたので適用して欲しい。	ウイルス対策	10/8 にアップデート実施、クライアント用モジュール作成済み。	2015/10/8
2015/10/4	Q/A	全	ファイルサーバから filesrv (DISK FAILED) WARNING が届いているがどのような対応が必要か。	ファイルサーバ	ファイルサーバのディスクが故障して予備ディスクに切り替わっているため、不良ディスクの交換を実施 (10/5)。サポートデスクへメール通知が行われていなかったようなので、設定の見直しを実施。	2015/10/6
2015/10/8	Q/A	旦野原	Netkaleido のタスクですが前に発生したのと同じ状況となった。 ・メニュー変更が実行中のままとなる (Netkaleido) ・dev_001.002 の電源投入が失敗 (Netkaleido) ・client_polling が (0x103) で停止 (boot サーバ) boot サーバの client_polling を手動で起動した。 クライアントは特に問題は発生していない。	PC	client_polling が停止する問題があった場合でも、クライアント - サーバ間のコミュニケーションが途切れない様に改良したクライアントエージェントが出来たので、ファイルの置き換えをお願いしたい。	2015/10/8
2015/10/9	Q/A	全	Symantec Endpoint Protection のクライアントについてですが、英語版を作成することは可能か？	ウイルス対策	英語版については、シマンテックのダウンロードサイトからの提供のみとなる。英語版をインストールした PC も管理サーバで管理する場合は、管理外で一旦クライアントをインストールし、管理サーバ側で別グループを作成し、そのグループの Sylink.xml をエクスポートして各 PC へインポートする必要がある。	2015/10/19
2015/10/14	要望	全	ALC NetAcademy のバージョンアップ作業を実施して欲しい。	e-ラーニング	ALC150220 の修正まで適用済み。(10/15)	2015/10/15
2015/10/21	Q/A	狭間	Adobe X 系のサポートが切れるため、Master Collection CS6 (Adobe Acrobat X Pro) のアップデートを行いたい。	adobe	アップデート方法について確認中。 2014/5/22 で販売終了となっており、アップデートができなくなっている。 Creative Cloud 移行しており、あらたに購入が必要となる。また製品単体でのバージョンアップでの購入もできない。	2015/11/24

発生日	区分	キャンパス	トラブル / 質問内容	システム区分	対応	完了日
2015/10/22	トラブル	全	「js」と言うユーザIDで、送信したメールが、送信済フォルダの中で見当たらない。少なくとも、2通が存在しない。以前、「送信済みフォルダの「mail.dbf」に不整合があった」という件と同様の現象と思われる。状況の確認をお願いしたい。	メール	「js」ユーザのディレクトリを確認したところ、「送信済み」フォルダの dbf に不整合があった。取り急ぎ、復旧させた上で確認して欲しい。 メールが送信された時刻に、送信者と別の利用者がWEBメールへのログインしており、今回の不整合はメール送信とログインが同時に行われた際に発生したと考えられる。 通常、送信されたメールは「送信済み」フォルダに格納され「dbf」に反映される。また、仕様上WEBメールへログインすると新規受信メールがある場合はすべてのフォルダの「dbf」を参照し、メール使用量の更新など「dbf」更新が実行される。しかし、「送信済み」フォルダへの格納とログイン時の「dbf」更新が同時に実行され、その処理の中で不具合があり、不整合が発生する可能性が確認された。この不具合の対応モジュールを準備中。 モジュールの準備にしばらく時間がかかりそうなので、11/26 にデータベース不整合のチェックを実施。4件の不整合を修正。 修正モジュールが完成したため、12/10 に適用作業を実施。	2015/12/10
2015/10/26	Q/A	全	メールサーバ (ajimu) に以下のようなLDAPサーバからのエラーが記録されていた。この前後に、大量のメールが来て、それに応じたLDAP検索要求が出たと思う。一時的なエラーと思われるがその後も頻繁に起こっているようだ。 ldap_init/ldap_bind failed to ldap… SYSERR (root) : Error getting LDAP results, map=searchname3. Unknown error 325 また、ldap23のサーバ自体の認証に ldap や samba を使わないように設定して欲しい。	メール	「ldap_init/ldap_bind failed」につきましては、1サーバにアクセスが集中したことによる過負荷の問題の可能性がある。 ※ 11/1 (日) のLDAP状況について再度発生状況について再確認すると、この時点では、LDAP 1台のみの集中ではなく、3台のLDAPに均等に割り振られていたようで、04:25:00 から 04:37:00 の間も、検索動作ログが記録されていた。⇒ ajimu でのエラー有無についてご確認いただけないでしょうか。 「 Error getting LDAP results」につきましては、LDAPのログからは、結果として「存在する」「存在しない」いずれかの答えを返していたように見えていた。また、各LDAPサーバでの検索も正常に行えるため、データベースの破損はなく、エラー等も記録されていなかった。ajimu 側でエラーと判断されていた原因についてはわかっていない。 ldap23については、11/5 にローカル認証へ変更済み。 ajimu 側で1サーバにアクセスが集中しないように分散するしくみを組み込み済み。	2015/11/5
2015/10/28	Q/A	全	教育情報で導入したサーバを中心にSEPクライアントが最新となっていないサーバのバージョンを最新にして欲しい。	ウィルス対策	狭間キャンパスのSPROTECT はアンインストールのタイミングを調整中。残りのサーバは、11/2 に実施済み。且野原キャンパスのサーバ関連は、11/18 に実施。 サーバ再起動後、狭間キャンパスのみ「Papercut Print Provider」、「Print Spooler」、「LPD Service」の各サービスを再起動するまで、印刷が行えなかった件については、SCSK に調査中。 Windows のLPD サービスの不具合と思われる。今後 Windows では、LPD サービスをサポートしなくなるため、COSY 側で用意したLPD サービスへ切替予定。この機能を利用するためには、現行システムのパッチアップ作業が必要となるため、対応について検討中。 443 の OKI プリンタの障害の目的が立った後、対応予定。 → 現行バージョンでは、LPD サービスの文字化け現象が発生していたが、LPD サービスの文字化け現象に関しては、LPD サービス自体のバグであることが判明し、現在、Papercut 本社にて改修を実施中。3月中にはリリースを予定しており、検証は必要だが、バグ改修が完了すれば、Papercut のパッチアップは必要なく、LPD サービスの切替のみで対応可能となる。 → 作業日程については、リリース後検証を行い、調整を予定。リリース日未定のため、他の方法がないか検討中。 修正が届いたため、作業日程を調整中 (6/24)。	2016/6/24
2015/10/28	Q/A	全	ファイルサーバのディスクのエラー状況やユーザがどのくらいのディスク容量を使用しているかを調査する方法を教えてください。	ファイルサーバ	ディスク使用量確認コマンド : quota report ディスク状況確認コマンド : sysconfi -r	2015/11/10
2015/10/28	Q/A	狭間	シマンテックをサーバで管理しないクライアントにインストールしたり、各国語版のインストールを行いたいので、クライアントモジュールのダウンロードサイトとダウンロード時のコードについて連絡して欲しい。	ウィルス対策	シマンテックのダウンロードサイト及びダウンロード時のコードについて涌様へ連絡済み。	2015/11/4
2015/10/28	Q/A	狭間	DHCP サーバでプロキシサーバのIPアドレスが配布できるか確認し、設定して欲しい。	DHCP	DHCP サーバの設定では、プロキシサーバのIPアドレスを直接指定することはできず、proxypac の設定しか行えない。プロキシサーバのIPアドレスを記載した Proxypac を作成し、Web サーバ上に置いて、それを参照させるようにすることは可能。 DHCP サーバから設定可能な WPAD の機能を利用する方法について検証中。 テスト方法について検討中。 クライアント側の IE の設定は「ツール」-「インターネットオプション」-「接続」-「LAN の設定」-自動構成の「設定を自動的に検出する」にチェック(デフォルト)。	2016/7/14
2015/10/28	Q/A	狭間	OPManager から HUB との通信ができなくなったとメールがくることがある。ネットワークの負荷の問題ではないかと思われるが、調査できないか。	ネットワーク	9月以降の状況で確認を行った。教室関係は、HUB や PC、リリースステーションの電源が切れか再起動等が考えられる。 教室以外でも HUB の自身の電源が落ちたログやアラクサがその先に接続されているなどの通信ができなくなったというログがある。 臨床講義棟教室のアラクサに関しては、10月末から11月頭にかけて、Received many packet というメッセージが記録されており、通信量が多かった可能性がある。	2015/12/24
2015/10/28	Q/A	狭間	個人用ネットワークドライブ割り当てをして、Word ファイルを開く際に、「その他のユーザが編集中です。」と表示され、「編集終了」の通知を受ける」という状態で読み取りのみの権限で開きました。その後2分くらいしてから、「編集できます」の通知が表示されました。Word ファイルにパスワードは設定していません。この現象は、どういった状態なのでしょう。またLDAPにファイルサーバへのログインログがあるかと思いますが、どうやって見るのでしょうか？	認証	現象的にウィルススキャンが動作した可能性もあると思われるが、ウィルススキャンログ参照時間帯にスキャンが走っていたかどうかの確認は可能でしょうか。事務所のPCは内网係が独自にスケジュールの設定をしたPCを使っているとの事と聞いたこともあるので、スケジュールの時間外でも前回のスケジュールが実行されず、再実行時間内にPCが起動した場合に実行される可能性もある。LDAPのログの確認方法については、別途連絡済み。	2015/10/29
2015/11/2	Q/A	旦野原	Wingnet にて教員機から「音声」機能で学生機に送った音が小さい。操作をしているうちに通常の音声に戻り、その後は正常に聞こえる。	wingnet	Wingnet ではボリュームの調整はできないが、音声の取り込み品質は調整は可能である。デフォルトはネットワーク負荷を考慮して「低品質」になっていないが、設定値を「中品質」や「高品質」に変更した場合に現象に変化があるか確認して欲しい。 PC の起動直後だけの問題かどうか確認して欲しい。→ 505 で対応	調査中
2015/11/5	要望	狭間	Fortigate のバージョンを最新版にバージョンアップして欲しい。	FW	Fortigate の現在は、4.0MR2 で最新の 5.2 にバージョンアップするには、4つのアップデータを適用する必要がある。またメジャーバージョンアップのため、現在の設定が正常に継承されるが事前に確認する必要がある。検証機を用い事前に問題点等の洗い出しを行い、バージョンアップ作業を実施する。バージョンアップ後は、大きく変わるものは、ローカルの設定ファイルが実用利用できる点だけで、定義ファイルについてもCONFファイルとしては、以前のバージョン分はそのまま利用できそうである。12/8 に ps、12/15 に cs のアップデート作業を実施。	2015/12/15
2015/11/6	トラブル	狭間	瞬快でイメージ作成処理を実行しようすると、起動時に DHCP のアドレスを取得できていないように見える。その他の PC も起動時には DHCP の取得が正常に動作していないように見える。	瞬快	瞬快サーバ上で動作している DHCP サービスの不具合と思われる。DHCP サービスを再起動して正常動作を確認。	2015/11/6
2015/11/13	Q/A	狭間	本学で学生端末を利用して閉ざされたローカルネットワークの中で行う試験がある。ネットワークを切り替えると、papercut から予期しないエラーと言うメッセージが表示される。常時プログラムから簡単に停止する方法はないか？	プリント管理	クライアントで動作している PaperCut Agent の終了手順については、下記2つの手順がある。 1) コマンドプロンプトより、下記コマンドを実行 taskkill /F /IM pc-client.exe /T 2) インジケータの PaperCut アイコンを右クリックし、終了を選択 ※ こちらは、ネットワークを切り離した時にしか操作出来ません。	2015/11/13
2015/11/18	要望	全	web-s で利用している ファイルサーバの /html 領域について、ユーザのホームディレクトリと同じようにウィルススキャン設定をお願いしたい。 なお、スキャン頻度は1週間に1度で良い。	ウィルス対策	スキャン実施曜日 / 時間確定後設定予定。12/1 に設定を実施。スケジュールが既存のものにあわせて1つしか定義できなかったため、ホームフォルダ実施後に組み込み。毎週金曜日 22 時より開始、日曜日 10 時頃までかかっていたのが、14 時 30 分頃までかかるようになった。	2015/12/1
2015/11/19	トラブル	狭間	ある学生が端末のログイン画面からログインを行った後、デスクトップ画面が表示されない。画面は水色で向かって左上画面の「個人設定 (応答なし)」の状態がずっと続く。	PC	ファイルサーバに保存されている学生のホームフォルダ appdata\roaming 配下のフォルダ、ファイルをバックアップ後、全て削除したあと、再ログインしてもらうことにより正常動作を確認。	2015/11/20
2015/11/25	トラブル	旦野原	センター 3F、第3実習室の PC (cc30009) が昨晚寝るときにログインしたままだったが、今朝来て見てみるとログインされたままの状態が残っていた。11/18 (水) にサーバの再起動があり、そのあと、サーバの client_polling タスクが停止しているため、手動で実行した。	PC	Netkaleido から OSV のデータベースに正常なアクセスが出来ない場合がある様である。DB アクセス時の排他問題が起きている様なので、複数のプロセスからの接続が残っている可能性がある。 ・サーバ毎の再起動をお願いしたい。 管理サーバ (ccboot1) のサービス再起動により、一部の排他による DB アクセスの不具合は改善されると考えられる。 ・ccboot1、ccboot2、ccboot3、ccboot4 を停止 ・ccboot1 を起動完了後、ccboot2、ccboot3、ccboot4 を起動	2016/1/15
2015/11/27	トラブル	全	朝からメールの迷受信不具合が発生している。	VMWare	11月27日の5:51分頃からESX-13がダウン状態(ブルー画面)となったことを契機にEsx-13上のサーバ(gyabakei)もダウン状態となっていたため、しかし、ESX がダウンした原因については、ESX ダウン後の起動を契機に vmkernel-zdump (ダンプファイル) を生成していることが確認出来たが、資料からは合致する事例が確認できず、事象の特定は至っていない。[no heartbeat] を検知している事から vmkernel が応答しない状態が続いたため、パニックが発生した可能性が考えられる。ハード間で障害調査を実施したが、特に問題はなさそうであった。念のため、運用中の fg と yabakei を別の esx に移動して移転。	2016/1/27

発生日	区分	キャンパス	トラブル / 質問内容	システム区分	対応	完了日
2015/11/27	要望	全	yabakeiのサーバが、慢性的にメモリーが足りていないので、4Gから16Gに増やして欲しい。 Dee p Mailの4台も、ちょっと足りないようなので、16Gに増やして欲しい。	サーバ	yabakeiについては、12/1に16Gに変更作業を実施。Web-mの4台については、シミュレーションの時期に実施予定。1/15にWeb-mの4台はCPUも2→4コアに変更。	2016/1/15
2015/11/27	トラブル	狭間	スキャナフォルダーにスキャナで読み取ったファイルを取り出せない。複合機のスキャナログには格納されたことが情報として記録されているが、フォルダーを開くときに「スキャンしたファイルが見つかりませんでした」とエラーが出る。また、自己学習室でスキャンすると自分以外のフォルダーも見えろ。どうしたら改善するのか、再度対応をお願いしたい。	プリンタ、PC	ファームのアップデートに伴い、ホスト名・NetBIOS名が初期化されていることが確認できた。再設定を実施することにより正常動作を確認。自己学習室で全ユーザが表示されてしまうのは、登録されているパッチファイルの問題。修正したパッチを作成したので、フリーソフトのアップデートの際に一緒に修正を適用して欲しい。	2015/12/24
2015/11/28	Q/A	全	web-m1のメール送信数が他のサーバと比較して少なく、他のサーバは、結構swapを起こしているようである。	IPCOM	IPCOMの負荷分散設定で、web-mのHTTPSにおいて、web-m1がメンテナンスモードとなっていたことが原因と思われる。メンテナンスモードを解除することにより、平均的に分散されるようになっている。	2015/12/1
2015/12/10	トラブル	狭間	今月のWindowsupdate連携処理が、9時になっても終了しない。終了したPCにおいても「サマリファイルを送信しています」という画面が表示されている。	瞬快	情報処理実習室のUpdate件数が2ヶ月分存在したせいもありサーバの負荷がかかる要因とはなっていたが、それよりも早い時間帯の自己学習室の適用時間も通常より1時間以上多かったため、サポートへ調査を依頼中。 サーバ側のWSUSの取り込み時間を1時間繰り上げ、各実習室の開始時間を1時間ずつ早める。ノートブックについては、翌日に行うようにスケジュールを変更。サポートの回答では、瞬快側には問題はなさそうである。各クライアントでパッチ検索の時間が1回あたり10～20分程度かかっており、サーバの負荷、ネットワーク、適用パッチの量が多いことが要因として考えられる。 クライアント側のチューニングでは、ほとんど改善されなかったため、WSUSサーバのDBのチューニングを実施。 WSUS上の不要な修正情報(64ビット版、2013年以前の情報)をインストール状態から拒否状態に変更。	2016/4/15
2015/12/10	トラブル	狭間	無線機器のファームアップ後、再度接続できないという事象が1か所で発生した。 装置の再起動後、正常に利用できるようになった。	無線LAN	最新のファームが提供されたため、適用作業を実施(12/11)。 12/15再度事象が発生したため、調査中。学生福利施設一看護棟6Fのラボポラ間を光ケーブル接続に変更して確認予定。2/12に変更済。	2016/3/23
2015/12/11	要望	全	・シマンテックのsepm上で新規に作成したdannoharuグループのインストラを作成して欲しい。 ・SEPM上でグループ名の変更を行っても既存のクライアントに影響はないか。 ・管理者定義のスキャンのログが表示されない。	ウイルス対策	・新規のインストラの作成は、年内に実施予定。 ・SEPM上のグループ名を変更しても既存クライアントには影響はない。 ・管理者定義のスキャンログが表示されない件は、画面のハードコピーをいただきたい。 管理者ユーザでログインしたところ確認できたとのこと。	2015/12/17
2015/12/14	トラブル	全	メールの送信ができていないようである。Proself側で処理が滞っているように見える。	proself	メールアドレスに日本語が含まれているものが大量に送信されたため、負荷が高くなってしまったと思われる。根本原因、対処について検討中。 Mailproxy側のログは下位サーバからメールデータが送られてこないRead timed outとなっている。そのため下位サーバへMailproxy間のネットワークが詰まってしまったような状況になったと推測しているものこれ以上は大変申し訳ありませんが原因を特定できていない状況である。 今後同様なことが発生するようであれば、CPU及びメモリの増設を実施する。	2016/2/24
2015/12/15	要望	全	Windows DNSの脆弱性に関する注意喚起の連絡があったので、Windowsupdateを実施して欲しい。	サーバ	プリントサーバ関連は、以前ADサーバだった影響でDNSサーバのサービスが起動している可能性があるため、確認して必要であれば、停止、削除を実施する。その他のサーバは、サーバサービスとしては、利用していないため、冬休みにWindowsUpdateを実施する予定。printccへのDNSの問い合わせについては、sambaサーバのドメインがprintccのためと思われる。 SCSISにて同様の環境を作成し検証後、適用予定。 →22日、printkanr01及びspool01のlnbustsファイルに、それぞれのIP及びホスト名とSambaサーバのIP、ホスト名を記載。 →各サーバにクライアントのIP及びホスト名を記載予定。6/28に実施。 8/31時点であり状況が変わっていないため再調査予定。 ドメイン名変更の件は、コムネットと調整中。	調査中
2015/12/15	トラブル	巨野原	II1030, II1021で学生が音声録音ができない。今回WingNetではなくWindowsのサウンドレコーダを使っている。 II1030> 雑音がひどく録音した音が聞き取れない状態 II1021> 全く音声の流れていない状態。録音はできていた(他のPCで確認) 【対応結果】 II1030> ヘッドフォンの交換で良くなった。机の下に配線をするとう雑音がひびかっただけで、机の上に配線をした。 II1021> ヘッドフォンを交換しても症状は変わらなかった。15～20分経過後にYouTubeの音声を流してみたところ正常に音声の流れ、その後は録音した音声も正常に聞こえるようになった。	PC	II1030は、ヘッドフォンの故障と思われる。雑音がひどい件とII1021については、調査中。 II1030の雑音がひどい件については、環境ではなくパソコン固有の不具合と考えられるので、マザーボードを交換予定。2/24にマザーボードの交換を実施。 II1021の音声の件については、調査中。 5/13に再発。Dドライブのキャッシュの削除で改善されたようにも見えるため、その観点でも調査中。→可能性低 ヘッドフォンを抜き差しして改善される(再起動が必要な場合あり)ようでもある。 ヘッドフォンを挿した状態でイメージを作成しても再発。(8/9)	調査中
2015/12/15	トラブル	狭間	情報処理実習室の入口リリースステーション電源起動しません。	リリースステーション	代替品と交換予定。代替品と交換済み。 原因については、電源コネクタの不具合でコンセントにきちんとささっていないためと考えられる。	2015/12/24
2015/12/24	Q/A	全	シマンテックのサーバから致命的ネットワークロードアラート...のメールが度々送信されてくるが、問題はないか。	ウイルス対策	12/16より加わった新機能で完全な定義ファイルのダウンロードを要求するクライアントが10分間に25リクエストを超えると負荷を軽減するため接続が制限されるようになり、その時点でメールが送信されるようになったため。サーバに対するネットワークの負荷が上がるだけであるため、12/15と同じように全クライアントからの送信を許可するように設定変更し、メール送信も停止。	2016/1/15
2016/1/5	トラブル	狭間	学生ホールに設置していますリリースステーションの電源が起動しなくなった。	リリースステーション	確認したところ電源も問題なく入るようなため、再度そのまま利用中。 今後交換品到着までの代替として、タブレットPCを1台セットアップ完了。	2016/3/22
2016/1/6	トラブル	全	sinet1のCPU使用率が高くなっており、接続が遅い状況が続いている。再起動しても状況はあまり変わらない。	サーバ	filedescriptorsが設定上限値に達し、エラーが発生しているようである。 Sinet1,2proxyの各サーバのfiledescriptorの設定を2048→4096に変更し、squidサービスの再起動を実施。	2016/1/7
2016/1/12	トラブル	全	メールシステムのログイン画面が表示されないことがある。	サーバ	1/9 21:40過ぎからweb-m2のCPU使用率等が急上昇し、メモリ資源等のリソースが枯渇したため、サーバがハング状態となり、完全にはダウンしていなかったため、web-m2を参照するとログイン画面が表示されない状態となった。 サーバ再起動により、現象は改善。同時時間帯に他のサーバは同様な現象は見られず、またweb-m2へ狭間キャンパスから多くのアクセスエラーが発生していたことから、メールシステムへのログイン画面の負荷分散方式を現在のノード単位からセッション単位へ変更し、様子を見る。設定変更がエラーとなったため調査中。 deepmail側にてセッション管理をcookieで実施しているため、負荷分散装置側でもcookie単位に変更を実施。	2016/2/2
2016/1/15	Q/A	全	シマンテック管理サーバ上で、教室PCを別グループに移動したところ、移動先でないグループに同じホスト名で複数のホストが表示されるようになった。	ウイルス対策	マスク機が、移動していなかったためと考えられる。マスク機を本来移動したいグループに移動することにより、問題なく表示されるようになった。(1マスクのみ) マスク機が起動中にグループの移動を行う場合は、マスク機をメンテナンス用モードにした状態で起動しておく必要がある。	2016/2/2
2016/1/19	トラブル	狭間	狭間キャンパスのDNSサーバでWWWサービスダウンとエラー通知があり、学内のWebページへアクセスすると、DNSサーバへの接続エラーが発生する。	サーバ	DNSサーバのdelegate(リバースプロキシ)サービスを再起動し、正常動作を確認。	2016/1/19
2016/1/28	トラブル	巨野原	・リリースステーションで印刷をかけたところ「キューに追加中」の状態のままで印刷されなかった。 ・PaperCutの管理画面のログを確認したところ、以下の警告が出ていた。 「A print job was attempted to be unpaused while being held and was deleted by the system. Please configure your queue security as documented in the manual section Installation-> Installation on Windows>Print Queue Configuration. Printer: itcpr, Document: Book1, Printed by: xxxxxxxx」 ・プリンタにエラーは出ていない。spool01のイベントログにも特にエラーはない。 もう一度印刷してもらったところ今度は正常に印刷された。 上記警告がどういう状況で出るのか教えてほしい。	プリント管理	頂きました現象を、メーカーに確認した所、Microsoft LPD サービスの問題であり、解決するには、PaperCutのLPDサービスをインストールする必要がある。 483 プリント管理サーバ再起動時の問題と同様であり、日程調整後実施予定。 4/15再発。	2016/6/24
2016/2/3	要望	全	メール領域がまた95% 越えになっている。 またproselfのvol4から500Gをメール領域に戻してほしい。	メール	NR1000上のproselfの領域400GB強をメール領域へ割り当て実施。	2016/2/5
2016/2/3	Q/A	図書館	OPAC 専用パソコンは、図書館ホームページだけにアクセスが限定されていたが、1台のパソコンだけはyahooやgoogleにアクセスできることが分かった。 設定方法を教えてもらえないか。	OPAC PC	IEのプロキシに「127.0.0.1」が入っていないからではないかと思われる。IEのプロキシの設定に127.0.0.1を追加していただく正常動作を確認。	2016/2/4
2016/2/5	その他	全	deepmail (アンチウイルスオプションのme) の設定変更依頼(アップデート用サーバのドメイン名変更による)。	メール	アンチウイルスオプションの設定ファイルの更新後、cronサービスの再起動を実施。	2016/2/8
2016/2/5	要望	巨野原	巨野原キャンパスの図書館に設置しているリリースステーションのソフトウェアキーボードを固定で表示したい。(動作しないようにしたい)	プリント管理	以前までは「タッチキーボード」が表示され、現在は「ソフトウェアキーボード」が表示されているのは無いかと思われる。「ソフトウェアキーボード」を「タッチキーボード」に変更する手順を調査し、手順書を作成予定。5/23に提出。	2016/5/23
2016/2/8	Q/A	狭間	ログイン画面で「LoginUI.exe 壊れたファイル」と言うメッセージが表示されログインが出来ない。	PC	システムファイルが破損したことにより、実際のファイルの情報とインデックスで持っている情報が異なることにより発生していると思われる。チェックディスクでエラーはなくなったが動作が不安定であるため、ディスク交換後瞬快により再配信を実施。	2016/2/24

発生日	区分	キャンパス	トラブル / 質問内容	システム区分	対応	完了日
2016/2/9	Q/A	全	送信されたはずのメールが、送信トレイや送信済みに見当たらない。	メール	Web メールにおいて、オプションの個人環境の設定のメール作成でメール作成の方法設定で「フレームの中で作成」を選択をしている場合、メールの宛先がaaaaやaaaaa@xxx.xxxとして送信すると、入力内容に誤りがありますの画面が表示されるが、この状態でオプションボタンをクリックしたり、別の画面に移動するとエラーとなったメールが消えてしまう状態となるため、このような操作を行ったことが考えられる。単純にメールアドレスを間違えたのであれば、送信トレイに保存されるため、仕様の統一を依頼済み。	2016/2/12
2016/2/18	要望	全	Linux の glibe の緊急修正パッチを適用お願する（扶間キャンパス、図書館）。	サーバ	図書館については、業務側に確認し、適用日程調整中。3/9に実施。特に問題なし。	2016/3/9
2016/2/25	トラブル	全	メールの送信ができない。一部受信もできない。	メール	Web-m1 ～ m4 の SMTP サービスと web-m2 の pop、imap4 のサービスが2/25 00:00 から停止していた。 原因は、2015/12/10 のパッチ作業においてサービス系のモジュールにパターンファイルのアップデート時にサービスを停止させてしまう事象を引き起こす処理があったためであった。当時の改修内容として、各サービス再起動時にもメール dbf 不整合が起こらないように改修していたが、その改修とは別に再起動時に誤った処理を含めていたことが分かった。当時の改修においては問題はなかったが、サービス再起動時の処理において問題があった。そのため、普段帳に行われる Sophos のパターンファイルのアップデートにおいて、本問題は発生していなかったが、2/25 00:00以降にリリースされた以下のライブラリのアップデートにおいて今回の問題が露呈する形でサービス起動に失敗する問題が発生した。 /usr/local/lib/libsaveiso こちらのライブラリを更新する際には、各サービスを停止→起動する処理が普段のパターンファイルの更新とは別途行われるため、今回の問題が発生した。(2015/12/10以降、2016/2/24まで同ライブラリのアップデートはなく、Sophos 社からのリリースの頻度も23ヶ月に一回程度。) 修正モジュールの適用作業を実施。(2016/2/26)	2016/2/26
2016/2/25	Q/A	扶間	学生用 PC でユーザ辞書が登録できない。デフォルトの保存フォルダである「IM[P10]」が存在しない。	ファイルサーバ	ファイルサーバ側で、該当フォルダを作成するパッチを作成し、適用予定。3/29に作業を実施。	2016/3/29
2016/2/26	Q/A	扶間	プリンター web 管理画面が利用できない。	PC	web ブラウザのプロキシ除外設定にプリンタの IP アドレスを登録してもらうことにより表示が可能となった。	2016/2/26
2016/2/29	Q/A	全	グローバルの学外からのアクセスを止めたいんですが、httpd.conf で学内のみに制限をかけることができるか。 調べてみたら、グローバルは、mailgw を通らずに学外から直接 gweb.med.oita-u.ac.jp に入っているようだ。	PC	gweb の Apache の httpd.conf で設定を行ったが、正常に動作しなかったため、Global (tomcat) が利用するパスあるいは、Apache のアクセス許可のパラメータの組み合わせを調査する。 Httpd.conf に下記の行を追加することにより、正常動作を確認。 <Location /global> Order deny,allow Deny from all Allow from 172.0.0.0/8 Allow from 133.37.0.0/16 </Location>	2016/3/29
2016/3/3	トラブル	扶間	扶間キャンパス自己学習室 SJK-031 が再起動時に電源が切断されることがある。	PC	2ヶ月程 Windowsupdate 連携が失敗していたのは、左記の状況が原因と思われる。CE よりメインボード交換済。	2016/3/8
2016/3/14	トラブル	全	3/1に出た redhat の脆弱性 CVE-2016-0800 に対応して欲しい。	サーバ	mailgw, octdns, dns, mail の4サーバについて3/17に適用作業を実施。	2016/3/17
2016/3/14	トラブル	全	メールの送受信ができなくなっている。	メール	700mb 超の添付ファイル付のメールが web-m4 から29件送信されようとしたため、proself サーバが高負荷となったことが原因と思われる。Proself サーバについては、CPU を1→2にメモリを4GB→8GBに倍増させた。	2016/3/14
2016/3/17	要望	全	ALC NetAcademy2 の修正プログラムを適用して欲しい。	ALC	3/23 定例会後に作業実施予定。3/23に適用作業実施。特に問題なし。	2016/3/23
2016/3/23	要望	旦野原	旦野原キャンパスの PC では辞書ファイルが C ドライブに作成されるため、次回ログイン時にも使用できるように場所を変更したい。	PC	IME のプロパティ画面でユーザ辞書のファイル名指定時に個人のホームフォルダのパスを指定する。Setup 用のユーザには、ホームフォルダがないため設定時に amladmin のホームを一時的にマウントしておく必要がある。	2016/3/25
2016/3/24	Q/A	全	DeepMail を利用する既存の複数アカウントに対して、一括操作で「最大送信メールサイズ」を設定する方法はないか。	メール	既登録ユーザに対しての一括変更はできないため、一括で変更するための専用のツールを作成する必要がある。3/28にツールの適用作業を実施。	2016/4/1
2016/3/28	要望	全	Web.s 上でセンターのホームページとは別の証明書を取得し、登録したい。	Web	既存ホームページの CSR を利用して、tsv ファイルを作成する際に追加したい dnsname を記載して、証明書を取得し登録済み。	2016/4/7
2016/3/30	Q/A	全	誤ってメーリングリストを閉鎖してしまいました。取り消して以前と同様に利用できないでしょうか。	メール	該当 ML は現在閉鎖申込み中となっているので、以下の手順で閉鎖を拒否することで通常利用状態に戻すことが可能。 「管理者 GUI >> Service >> 付加機能 >> メーリングリスト」の「申込 ML」タグ	2016/3/30
2016/3/30	Q/A	全	PaperCut で新入生のポイントの付与のしくみはどうなっているか。	プリント管理	自動的に付与する仕組みとなっていないため、4/4に旦野原、扶間で必要なポイント数の付与作業を実施する。扶間：250、旦野原：5000ポイント付与。	2016/4/4

教室使用状況

センター1F・第1実習室（システムA） Windows8.1Pro パソコン 70+1台

平成27年度・前期

	月	火	水	木	金
1限 9:00 ～ 10:30	メンテナンス	-- --	-- --	教・1年 情報処理演習Ⅰ 山下	工・2,3,4年 機械設計製図Ⅱ 岩本
2限 10:40 ～ 12:10	工・院1,2年 運動機能工学特論 岡内	-- --	-- --	工・2,3,4年 機械数学Ⅱ 石松	工・2,3,4年 機械設計製図Ⅱ 岩本
3限 13:10 ～ 14:40	-- --	教・2年 データ分析と統計 大隈	教・1年 教育情報処理演習 谷野・市原	工・3,4年 身体運動機能学 岡内	工・3,4年 コンピュータプログラミング 富来
4限 14:50 ～ 16:20	工・3,4年 プログラミング 水鳥	-- --	工・2,3,4年 建築CAD製図2 姫野	-- --	工・3,4年 コンピュータプログラミング 富来
5限 16:30 ～ 18:00	-- --	教・1年 教育情報処理演習 谷野・市原	工・2,3,4年 建築CAD製図2 姫野	教・2年 教育メディアとコンピュータ 市原	-- --

平成27年度・後期

	月	火	水	木	金
1限 9:00 ～ 10:30	工・3,4年 建築CAD製図Ⅰ 重田	メンテナンス	-- --	工・全学年 情報処理 高坂	-- --
2限 10:40 ～ 12:10	工・3,4年 建築CAD製図Ⅰ 重田	-- --	工・院1,2年 生体運動解析法特論 岡内	-- --	-- --
3限 13:10 ～ 14:40	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --
4限 14:50 ～ 16:20	工・3,4年 数値解析演習 小田	-- --	-- --	教・3,4年 職業指導 市原	教・1年 プログラミング言語演習Ⅰ 大岩
5限 16:30 ～ 18:00	工・2,3,4年 建築環境工学Ⅱ演習 大鶴	教・2年 教育メディアとコンピュータ 市原	-- --	教・2年 教育メディアとコンピュータ 市原	工・2,3,4年 建築材料実験 (12/18のみ)

教：教育福祉科学部 経：経済学部 工：工学部 医：医学部

教室使用状況

センター2F・第2実習室（システムB） Windows8.1Pro パソコン 60+1台

平成27年度・前期

	月	火	水	木	金
1限 9:00 ～ 10:30	メンテナンス	教,経,医,工・全学年 情報処理入門 吉崎	教,経,医,工・全学年 情報処理入門 吉崎	-- --	-- --
2限 10:40 ～ 12:10	工・院 1,2 年 流体機械特論 栗原	-- --	教,経,医,工・全学年 情報処理入門 吉崎	工・1 年 情報処理入門 吉岡	工・院 1,2 年 情報システム特論第 1 吉田
3限 13:10 ～ 14:40	-- --	-- --	-- --	-- --	工・1,2,2,4 年 情報処理概論 松尾
4限 14:50 ～ 16:20	-- --	-- --	-- --	工・1 年 情報処理入門 (7/30 のみ)	工・3,4 年 C プログラミング 池内
5限 16:30 ～ 18:00	工・全学年 電気電子工学入門 楠・水島	-- --	-- --	-- --	-- --

平成27年度・後期

	月	火	水	木	金
1限 9:00 ～ 10:30	メンテナンス	教,経,医,工・全学年 情報処理入門 吉崎	教,経,医,工・全学年 情報処理入門 吉崎	工・全学年 情報処理 高坂	工・3,4 年 情報処理演習 高坂
2限 10:40 ～ 12:10	-- --	-- --	教,経,医,工・全学年 情報処理入門 吉崎	工・1 年 情報処理入門 吉岡	工・3,4 年 生体運動制御論 前田・岡内
3限 13:10 ～ 14:40	-- --	-- --	工・院 1,2 年 MOT 特論Ⅲ (11/11,1/20 のみ)	-- --	-- --
4限 14:50 ～ 16:20	-- --	工・3,4 年 機械設計製図Ⅲ 斎藤	工・院 1,2 年 MOT 特論Ⅲ (11/11,1/20 のみ)	工・3,4 年 機械工学実験Ⅱ 石松	-- --
5限 16:30 ～ 18:00	-- --	工・3,4 年 機械設計製図Ⅲ 斎藤	-- --	-- --	-- --

教：教育福祉科学部 経：経済学部 工：工学部 医：医学部

※センター3F・第3実習室（システム室C） Windows8.1Pro パソコン 10台は自習室として開放

教室使用状況

教育学部 情報教育システム室（システム D） Windows8.1Pro パソコン 32+1 台

平成 27 年度・前期

	月	火	水	木	金
1 限 9:00 ～ 10:30					
2 限 10:40 ～ 12:10		教・2,3 年 情報工学 中原	教・1 年 基礎ゼミ（教科教育） （基礎ゼミ担当教員）		教・3 年 知能情報処理 大隈
3 限 13:10 ～ 14:40		教・2,3 年 情報科授業論 中原		教・3 年 情報システム I 中原	
4 限 14:50 ～ 16:20	教・1 年 基礎ゼミ（情報教育） 大隈 他	教・2,3 年 情報科授業論 中原		教・3 年 計算物理学入門 藤井(弘)	教・2 年 コンピュータ 大隈
5 限 16:30 ～ 18:00					

平成 27 年度・後期

	月	火	水	木	金
1 限 9:00 ～ 10:30					
2 限 10:40 ～ 12:10			教・1 年 情報基礎演習 山下		
3 限 13:10 ～ 14:40		教・1 年 プログラミングと言語 山下	教・1 年 初等教育のための ICT 活用（教養） 中原		
4 限 14:50 ～ 16:20				教・2 年 教育情報科学 山下・大隈	教・1 年 情報科学 I 大隈
5 限 16:30 ～ 18:00				教・2 年 数値情報処理 山下	

教：教育福祉科学部 経：経済学部 工：工学部 医：医学部

※教育福祉（システム室 E） Windows8.1Pro パソコン 23+1 台は自習室として開放

教室使用状況

経済学部 情報処理第1実習室（システムF） Windows8.1Pro パソコン 50+1 台

平成 27 年度・前期

	月	火	水	木	金
1 限 9:00 ～ 10:30					
2 限 10:40 ～ 12:10				経・2,3,4 年 計量経済 小野（宏）	
3 限 13:10 ～ 14:40					
4 限 14:50 ～ 16:20	経・1 年 情報リテラシー I 阿部（史）	経・3 年 演習 I 松岡		経・1 年 基礎演習 I 加藤、小野（宏）	
5 限 16:30 ～ 18:00	経・1 年 情報リテラシー I 阿部（史）				

平成 27 年度・後期

	月	火	水	木	金
1 限 9:00 ～ 10:30					
2 限 10:40 ～ 12:10		経・2 年 中級演習 II 久木元			経・2,3,4 年 統計学 II 西村
3 限 13:10 ～ 14:40					
4 限 14:50 ～ 16:20		経・3 年 演習 II 松岡			
5 限 16:30 ～ 18:00		経・2 年 中級演習 II 市原			経・2 年 中級演習 II 大呂

教：教育福祉科学部 経：経済学部 工：工学部 医：医学部

教室使用状況

教養教育棟・CALL 教室（システム G） Windows8.1Pro パソコン 74+1 台

平成 27 年度・前期

	月	火	水	木	金
1 限 9:00 ～ 10:30	工・2,3,4 年 基礎電磁気学 近藤		経・1 年 基礎英語 I 雲		
2 限 10:40 ～ 12:10	教,経・全学年 情報処理入門 吉崎	教・1 年 オラル・イングリッシュ 柳井	経・1 年 基礎英語 I 雲		
3 限 13:10 ～ 14:40				教・2 年 応用英語 E 利光	
4 限 14:50 ～ 16:20	経・2 年 総合英語Ⅲ 雲		教・2 年 情報処理入門 坂井		
5 限 16:30 ～ 18:00	経・2 年 総合英語Ⅲ 久保田	工・1 年 物理学基礎 近藤		経・1 年 情報リテラシー II 平川	

平成 27 年度・後期

	月	火	水	木	金
1 限 9:00 ～ 10:30			経・1 年 総合英語 II 雲		
2 限 10:40 ～ 12:10	教,経・全学年 情報処理入門 吉崎	教・1 年 オラル・イングリッシュ 柳井	経・1 年 基礎英語 II 久保田		
3 限 13:10 ～ 14:40	工・全学年 熱力学 近藤		教・2 年 応用英語 E 柳井	教・2 年 応用英語 E 柳井	
4 限 14:50 ～ 16:20					教・2 年 英語音声訓練 柳井
5 限 16:30 ～ 18:00	経・1 年 情報リテラシー II 豊島	経・1 年 情報リテラシー I 松隈		経・1 年 情報リテラシー II 平川	

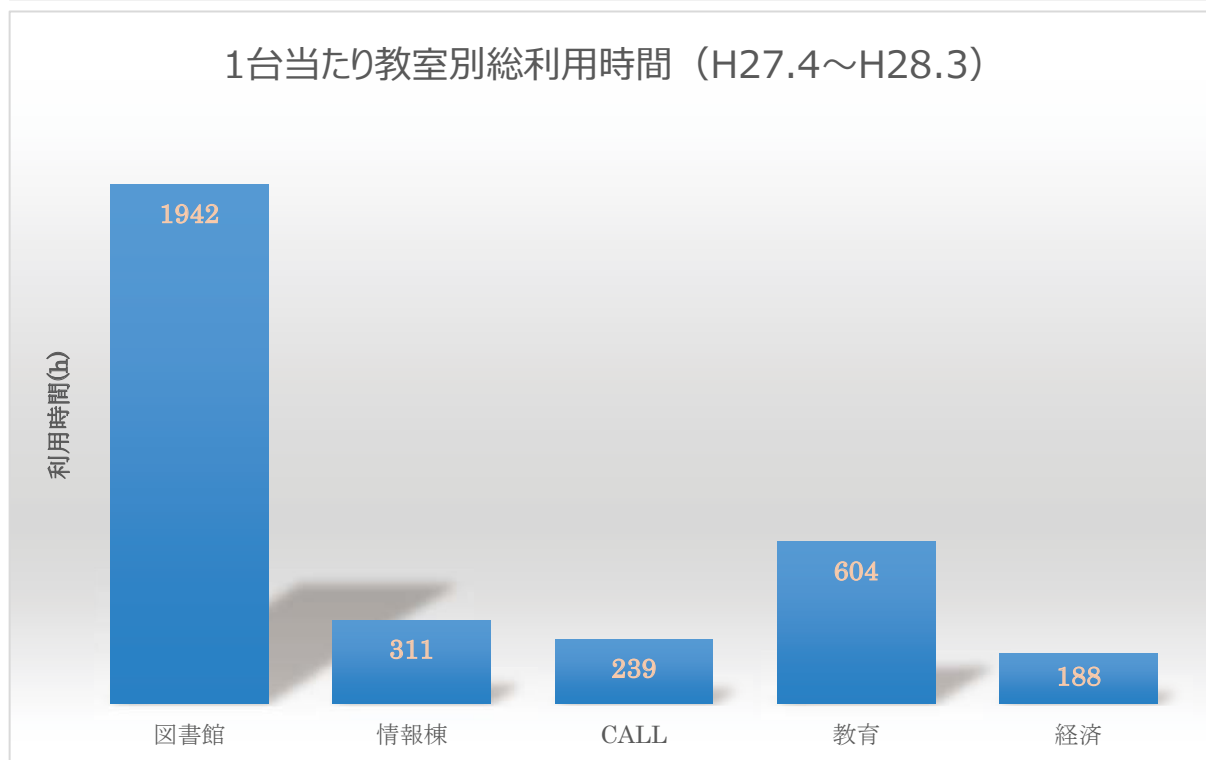
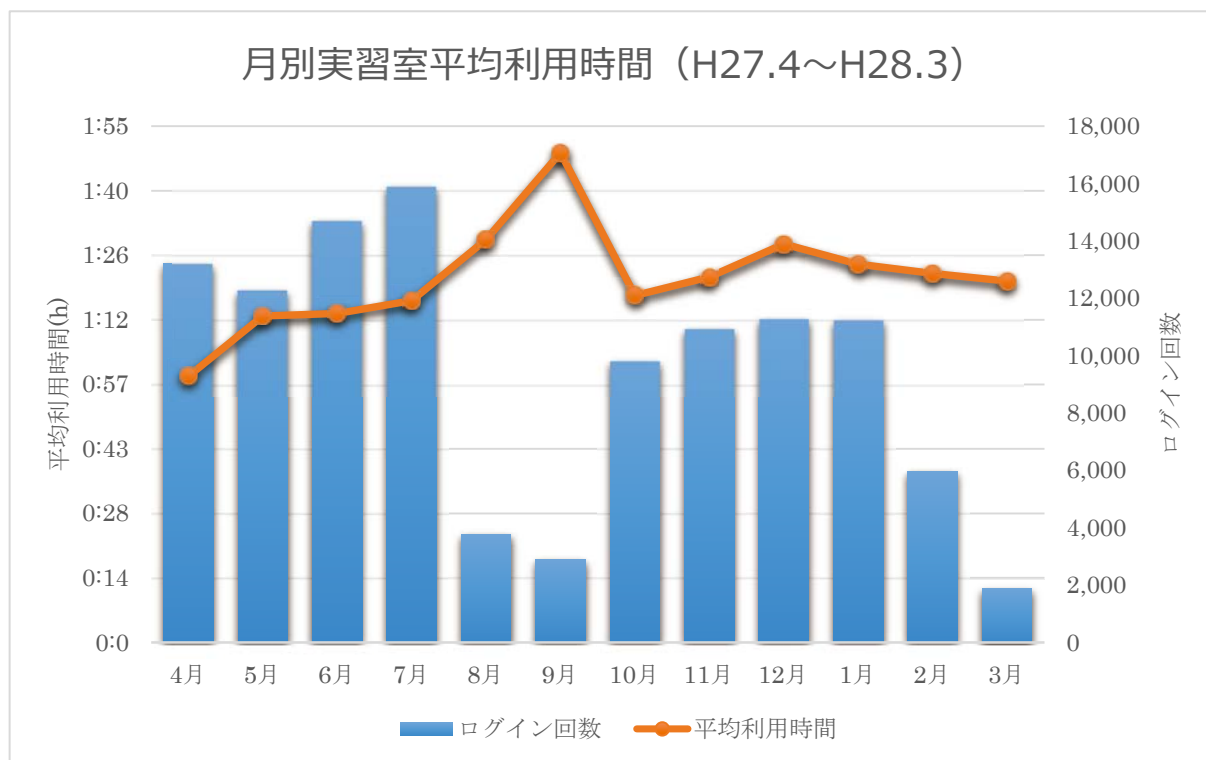
教：教育福祉科学部 経：経済学部 工：工学部 医：医学部

※図書館 Windows8.1Pro パソコン 10 台は自習室として開放

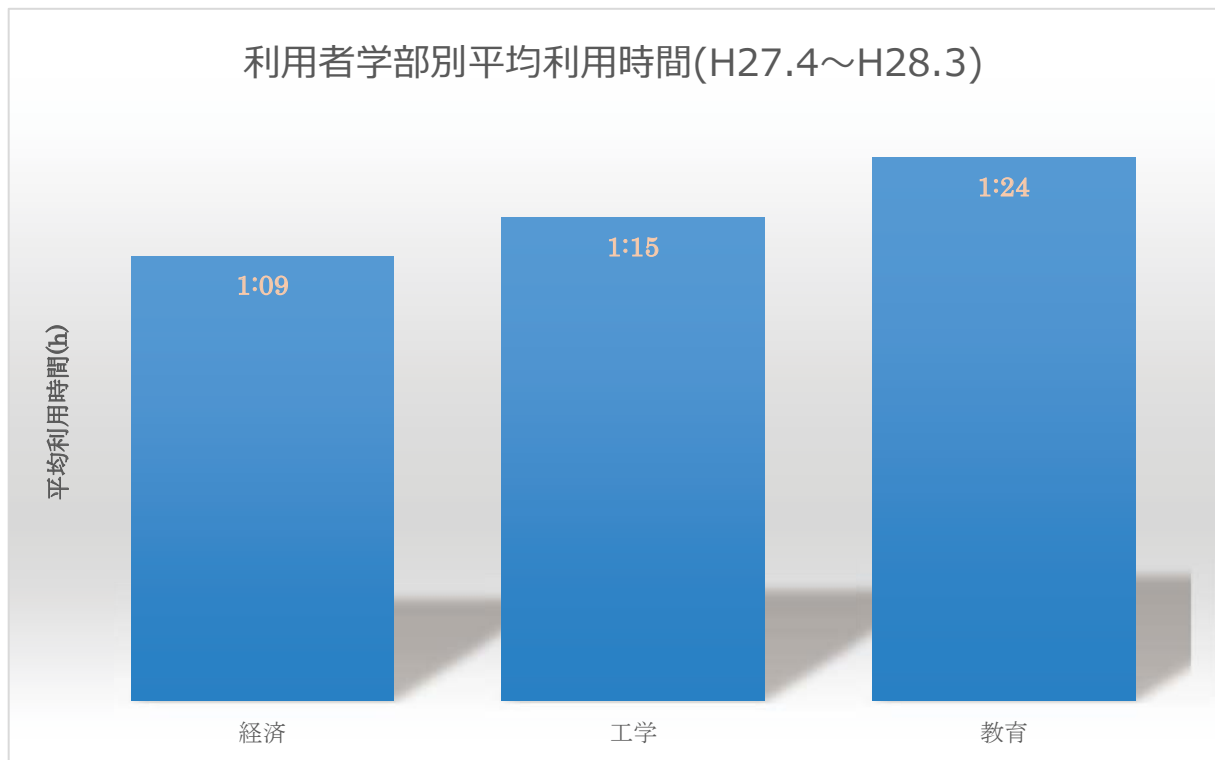
※各教室授業時間以外は自習室として開放

システム利用統計

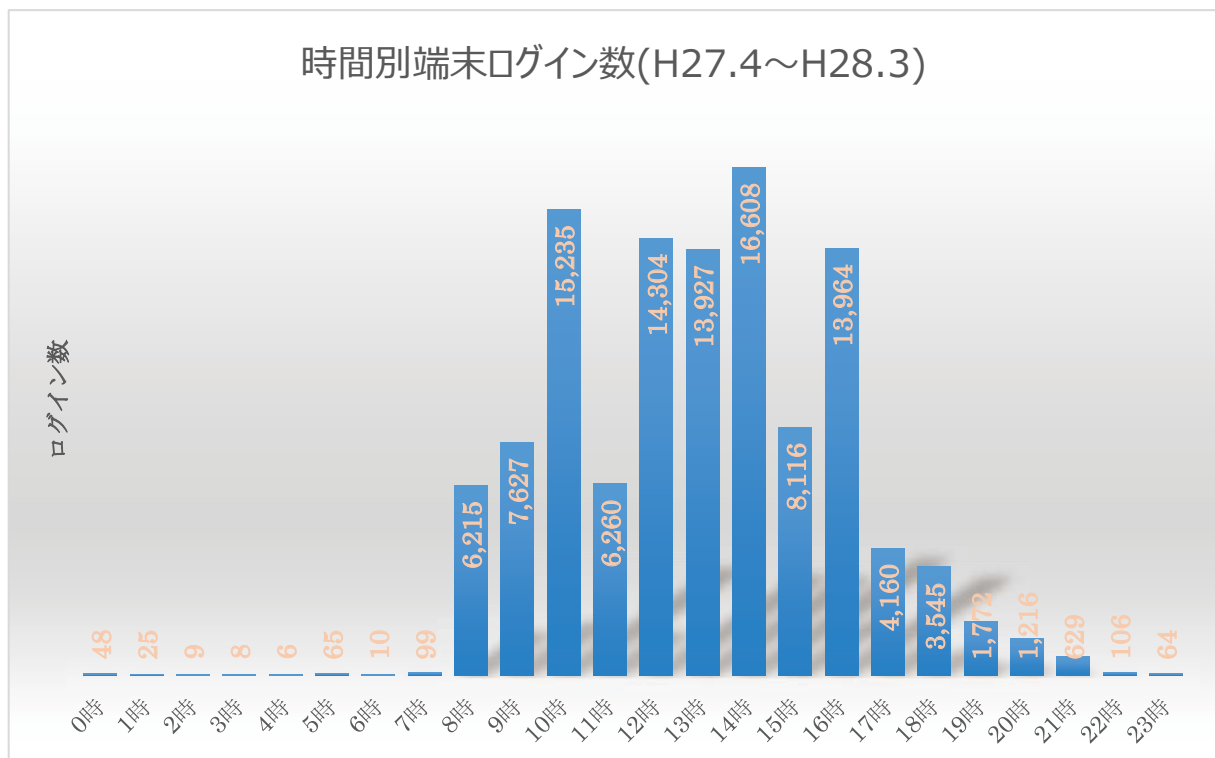
実習室端末利用状況（旦野原キャンパス）



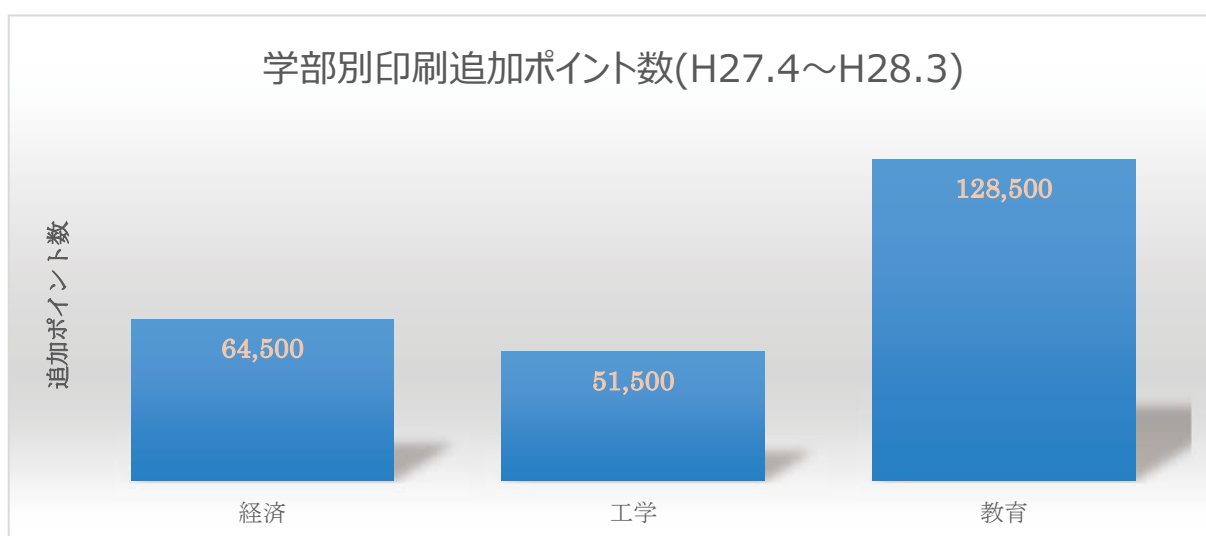
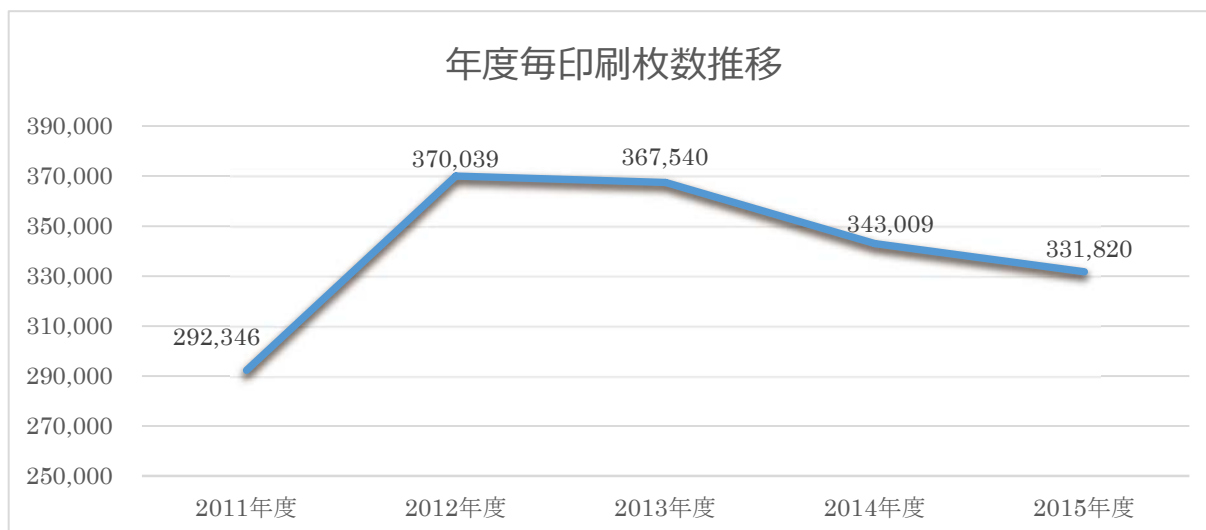
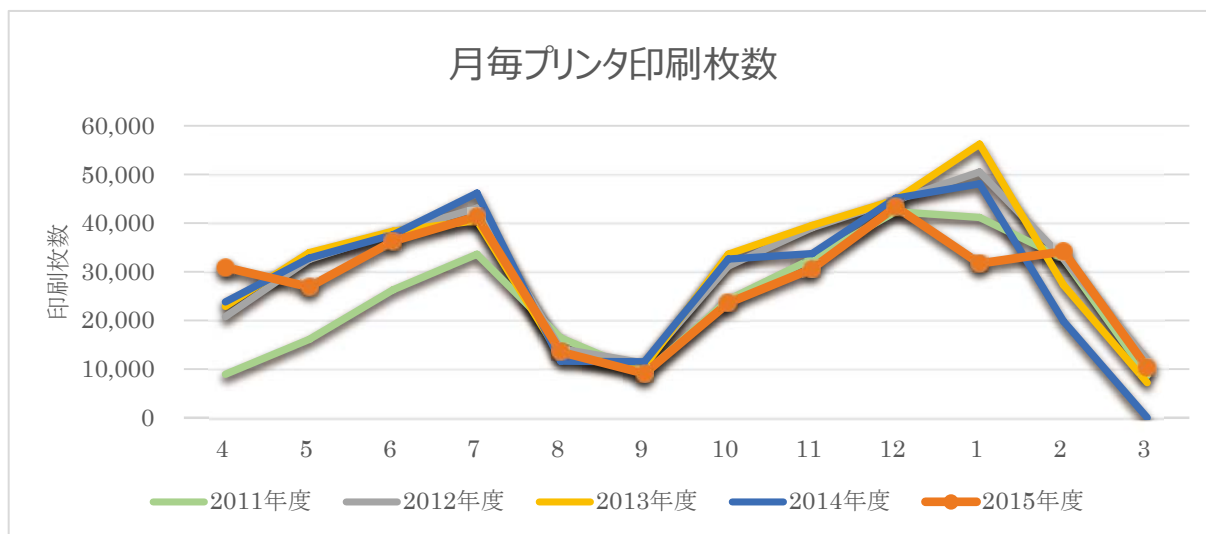
利用者学部別平均利用時間(H27.4～H28.3)



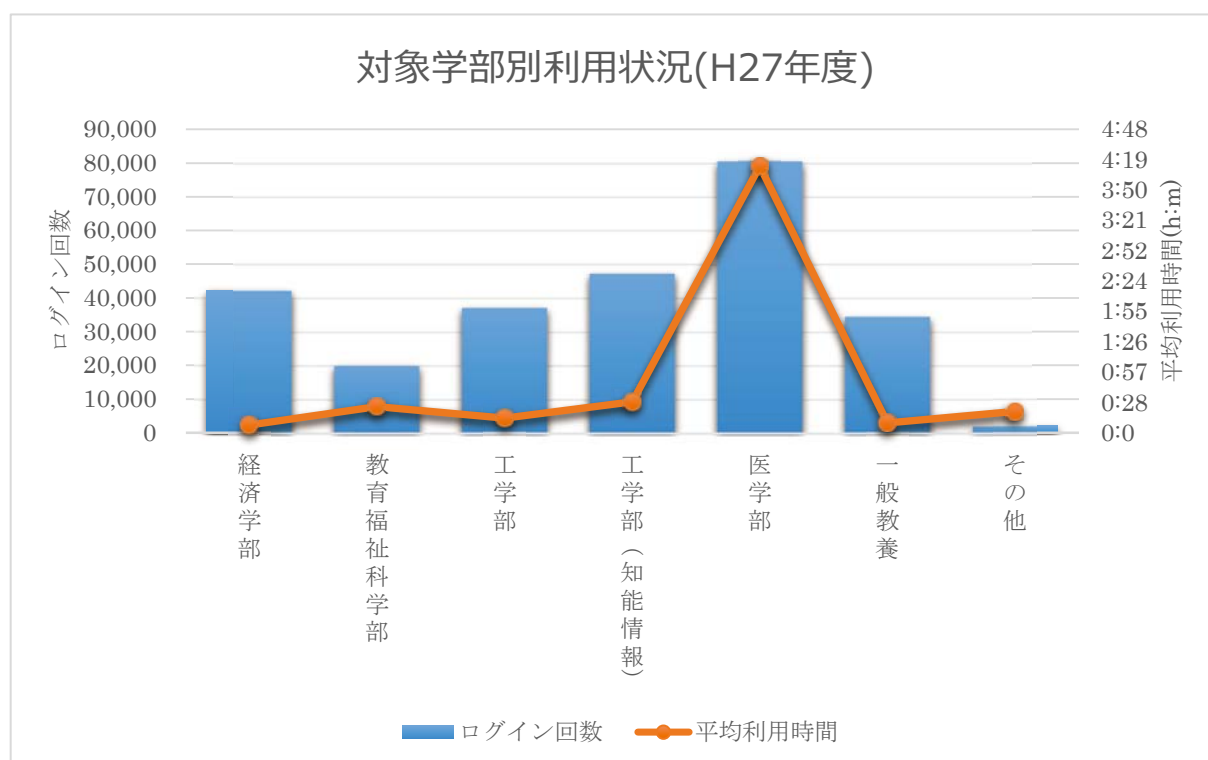
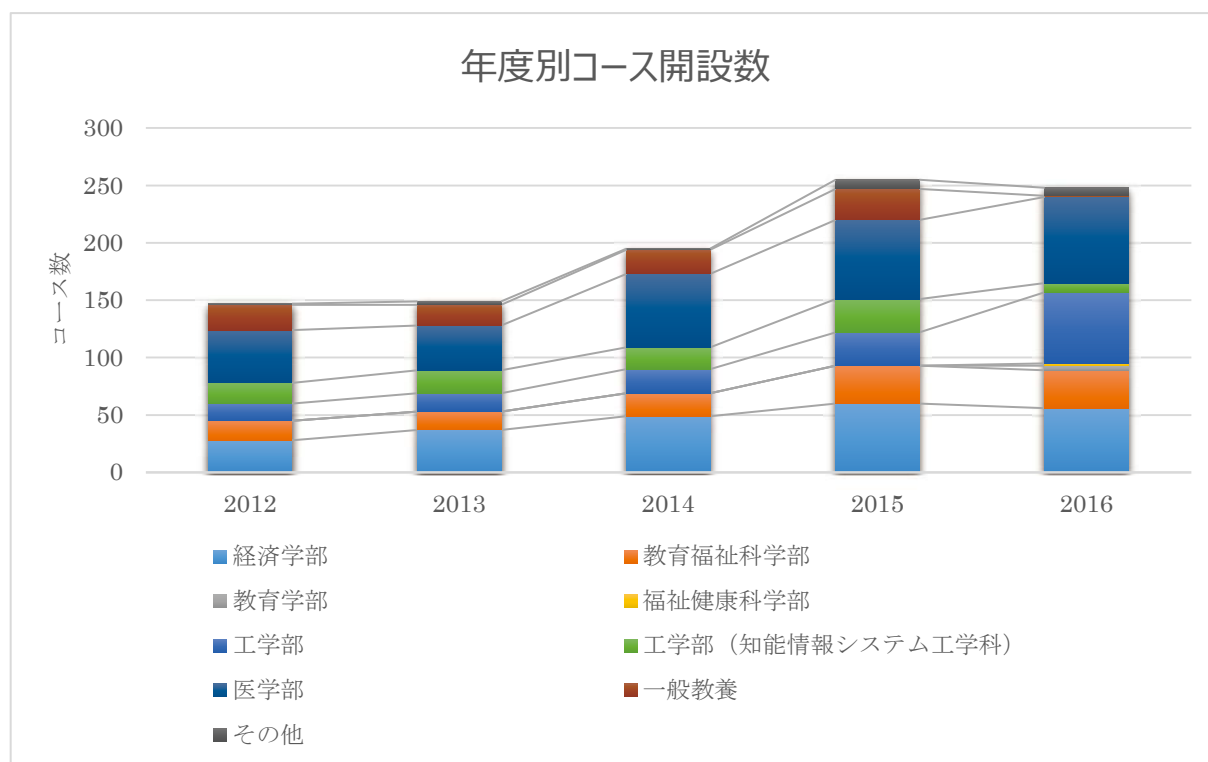
時間別端末ログイン数(H27.4～H28.3)



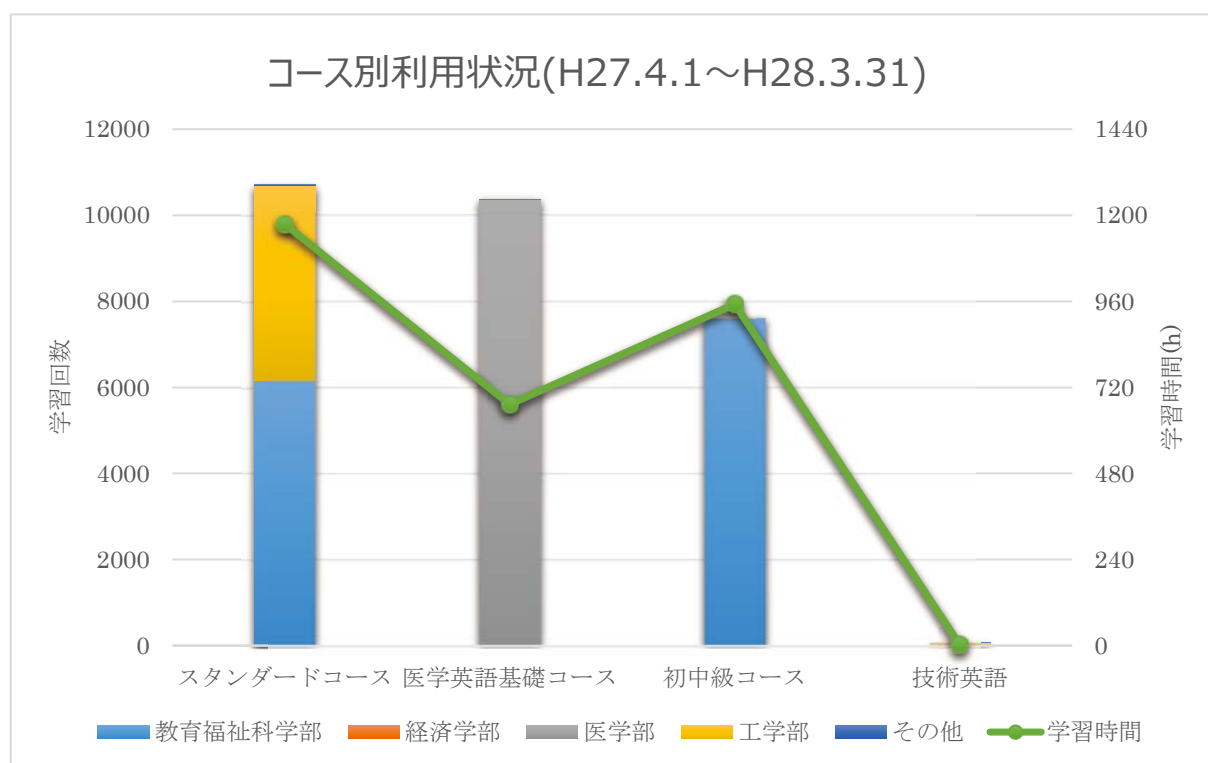
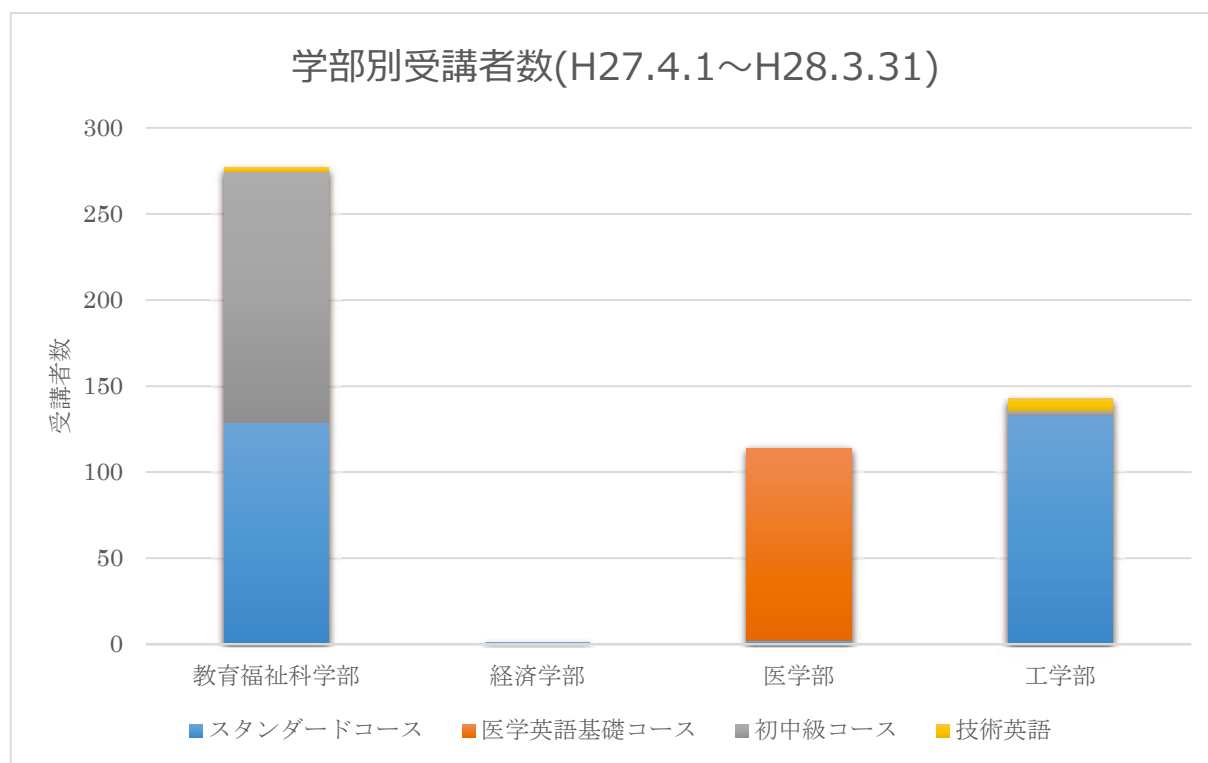
プリンタ利用状況（巨野原キャンパス）



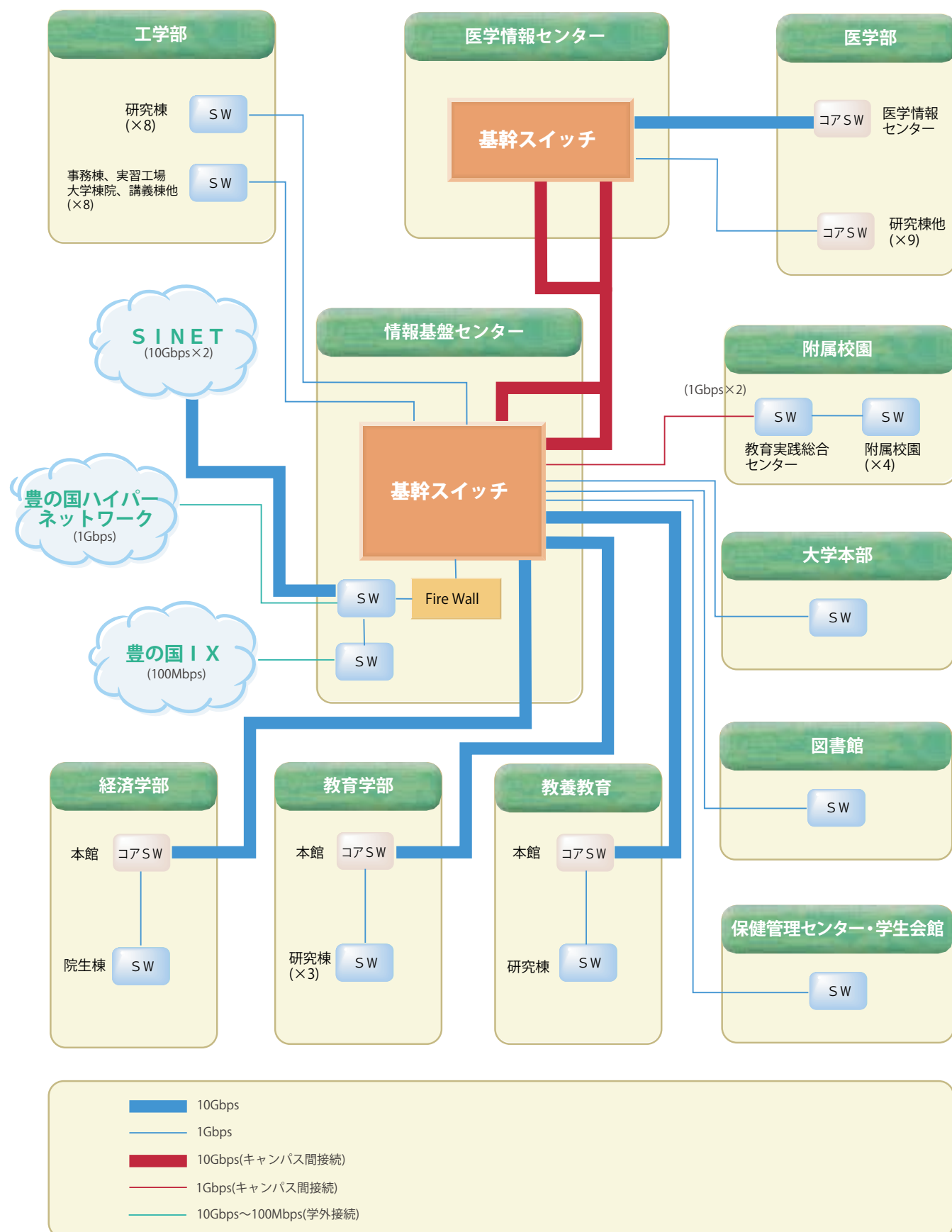
WebClass 利用状況



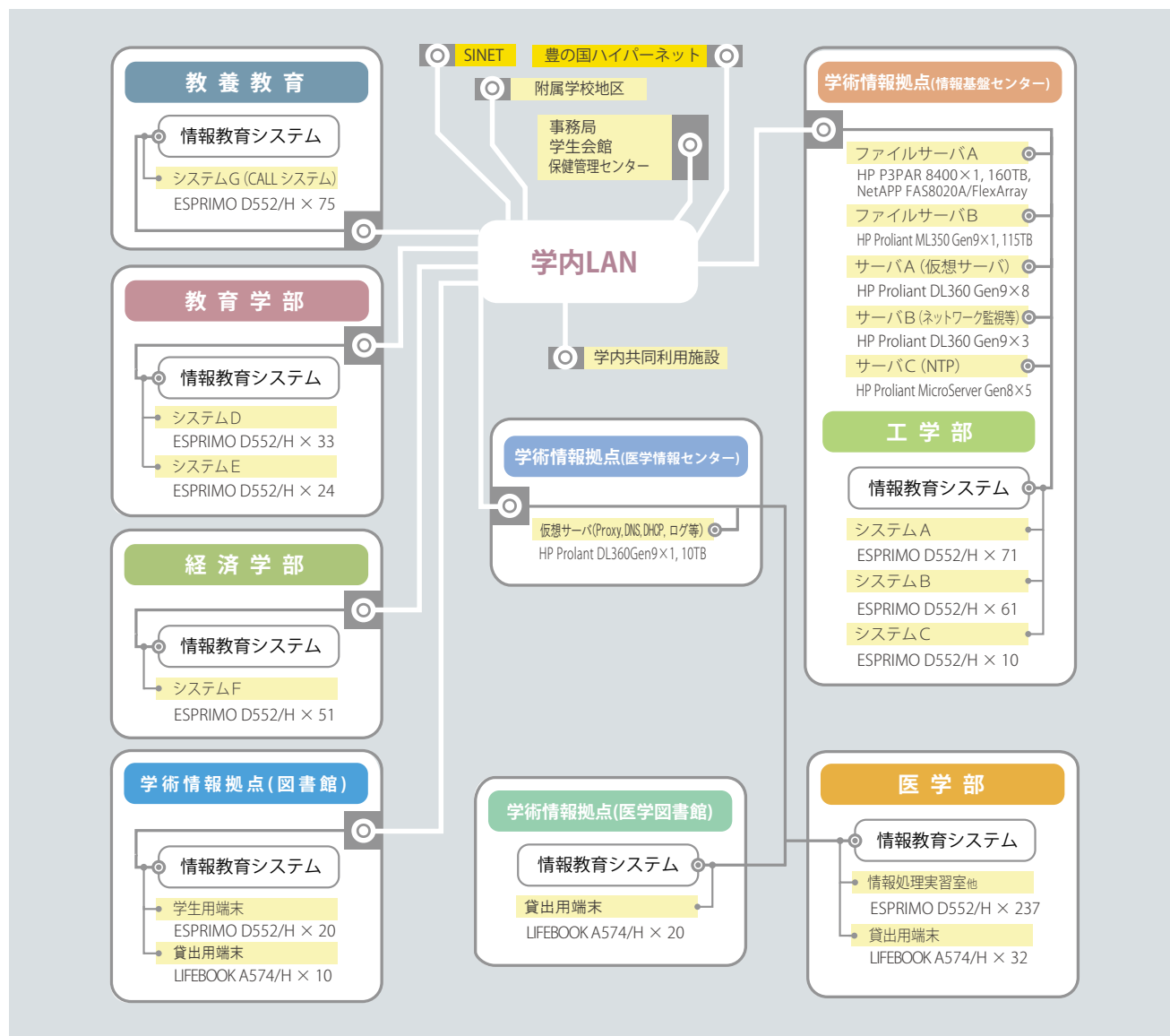
ALCNetAcademy 利用状況



キャンパスネットワークシステム構成図



基盤情報システム構成図



学術情報拠点（図書館）の学習支援サービスについて

学術情報拠点（図書館）

学術情報拠点（図書館）（以下「旦野原図書館」という。）では、学習支援のために様々なサービスを行っています。その一部をご紹介します。

○ライティング・サポート・デスク

学部1、2年生を主な対象とし、本学の大学院生等がレポートや論文の基本的なライティング作法を教えています。

平成27年度からこのサービスを開始し、徐々に相談者が増えてきましたが、まだ利用が少ない状況です。レポート作成等に困っている方は是非ご利用下さい。先輩が親切に対応してくれます。教職員からもライティング・サポート・デスクを学生にお薦めして下さるようご協力をお願いします。

なお、平成29年度前学期は、7月3日（月）から8月8日（火）まで開設する予定です。最新の情報はこちらでご確認下さい。

http://www.lib.oita-u.ac.jp/lib_s/gakusyu_shien/writing_desk.html



○「Sを目指すレポートの書き方」講習会

平成26年度から「Sを目指すレポートの書き方」講習会を7月に実施しています。これまで、学術情報拠点長や学術情報室の協力教員が講師を務め「出典と引用編」と「情報検索編」とに分けて講習会を行いました。参加者からのアンケートでは、「引用と参照と出典などの違いが分かって良かった。」「何となくレポートを書いていたけれど、これからはレポートを理解した上で書き進められそうだ。」などの回答がありとても好評です。

今後は、この講習会を受講した学生の成績等に実際にどのような効果があったかのフォローアップも行いつつ、引き続き実施していく予定です。

○コンシェルジュ

図書館職員がコンシェルジュとして、資料の探し方や情報検索、レポートや論文の書き方等の支援を行っています。気軽にご相談下さい。

時間帯：月・木曜日（開講期）の14：00～15：00

場所：旦野原図書館北側階段を上った2階文庫・新書コーナー付近

○図書館施設の紹介

旦野原図書館では、改修工事を契機に自学自習のほか少人数やグループ学習に対応した施設を拡充しました。授業の場として図書館の「科目別学習支援ブースエリア」や「グループ演習室」等を好んで利用される教員もいます。

本学の第3期中期計画で、能動的学修（アクティブ・ラーニング）を取り入れた授業比率を80%以上に高めることにしていることを踏まえ、教育活動の場所として図書館を益々ご利用下さるようお願いいたします。

学術情報拠点(図書館)施設の概要

○科目別学習支援ブースエリア(6ブース) 1階

少人数の授業または授業外の指導に



設備	・机2台、椅子4台 ・専用書架(6棚) ・ホワイトボード付き仕切り
利用例	・受講生をグループや時間帯で分けた少人数指導 ・再試験のための学習支援者(大学院生)による個別指導(補習) ・演習問題における課題の支援 ・レポートにおける課題の支援 ・卒論などでの教員の個人指導

利用可能人数: 24名以内

○ラーニング・コモンズA, ラーニング・コモンズB 1階

グループワークやディスカッションを行う授業に



設備	・移動可能な机・椅子64人分(A) ・移動可能な机・椅子40人分(B) ・大型ホワイトボード2台(A) ・電子ホワイトボード1台, 専用カラープリンター1台(B) ・PC20台, プリンター2台(B) ・自立式40インチスクリーン ・貸出プロジェクター1台 ・可動型ホワイトボード8台
利用例	・50人以上のグループワーク、ディスカッションを行う授業 ・図書館資料等を必要とする演習 ・ポートフォリオ作成の授業 ・ゼミ単位での授業外学習

利用可能人数: 104名以内, パソコンエリア20名以内

○グループ演習室1, 2

2階

授業または授業外
の指導に



演習室1: 36名以内
演習室2: 24名以内

設備

- ・移動可能な机・椅子
- グループ演習室1: 36席
- グループ演習室2: 24席
- ・ホワイトボード1台
- ・プリンター1台
- ・天吊り型プロジェクターと
吊り下げ型スクリーン(演
習室1のみ)
- ・フルHD42型液晶ディスプ
レイ1台(演習室2のみ)

利用例

- ・20名～30名の授業
- ・卒業論文などの演習

○グループ演習室3, 4

2階

少人数でのグループワーク、
ディスカッションに



演習室3: 12名以内
演習室4: 8名以内

設備

- ・移動可能な机・椅子
- グループ演習室3: 12席
- グループ演習室4: 8席
- ・ホワイトボードウォール2面
- ・フルHD42型液晶ディスプ
レイ1台

利用例

- ・少人数での授業
- ・ブレインストーミングを利用
したゼミ単位の授業外学習

○研究個室(2室)

2階

個人的な研究利用に



設備

- ・机1台、椅子1台

利用例

- ・図書館資料やデータベース
等を利用した研究

対象

- ・院生, 教員

利用可能人数: 各1名

○施設予約状況は、G Suite (googleカレンダー) で確認できます

○施設の予約は、libserv@oita-u.ac.jp、情報サービス担当(内線: 7485)、または直
接カウンターに申し込みをしてください

* 科目別学習支援ブースの詳細 (図書館ホームページ→学内者利用案内→学習
支援のページ)

大分大学学術情報拠点(情報基盤センター)

利用ガイド(2016 年度)

<https://www.cc.oita-u.ac.jp/>

窓 口：情報基盤センター1 階 事務室(平日 9:00～17:00)

電 話：内線 7985（外線からは 097-554-7985）

F A X：内線 7990（外線からは 097-554-7990）

M a i l: center@oita-u.ac.jp

W e b : <https://www.cc.oita-u.ac.jp/>（お問い合わせメールフォーム）

E

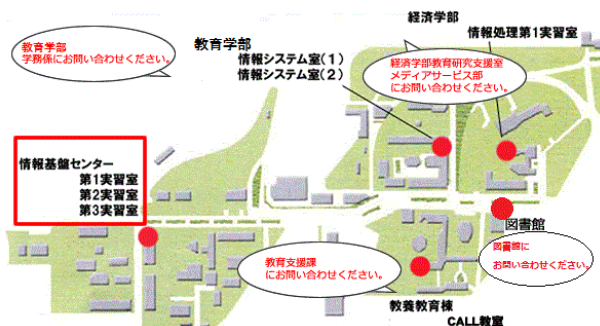
1. 利用者IDカードについて

センターから、「利用者ID」と「初期パスワード」を印刷した名刺大の「利用者IDカード」が提供されます。

皆さんの所属の学部・学科で配布を受けてください。

2. 利用者IDとパスワードで利用可能なシステム

2-1. 情報教育システム



【1】実習室パソコンの利用

実習室のPCを起動すると、下図の画面が表示されます。
“利用者IDカード”に記載されている、利用者IDと初期パスワードを入力してください。
初回利用時には、必ず初期パスワードの変更が必要です。
画面に従い、入力条件に注意し、パスワード変更を行ってください。

【2】プリンタ(オンデマンドプリンタ)の利用

プリンタは、図書館(2 台)、情報基盤センター1F 印刷室(1 台)に設置しています。

実習室または図書館のパソコンから、どちらのプリンタにも印刷をすることができます。

1. プリンタは図書館(libpr)または情報基盤センター(itcpr)のどちらかを選択します。必要なポイントは同じです。
図書館のプリンタはモノクロ A4 サイズのみとなっています。

2. プリンタが設置されている場所に行き、プリンタ操作端末にログインします。

次の3つの方法のいずれかでログインします

(方法1) 学生証を磁気カードリーダーに通す

(方法2) 登録済み Felica カードを IC カードリーダーにかざす

(方法3) ユーザ名(ユーザ ID)とパスワードを手入力する

3. ログインすると保留中のジョブ・リストが表示されますので、印刷したいドキュメント名を選んで、印刷してください。

4. 印刷ポイントが減算されます

印刷ジョブは 24 時間放置していると自動的に削除されます

※勝手に、用紙トレイを開けたり電源を触ったりしないでください！

エラーメールが送信されます。

何らかの原因で印刷できなかった場合は、すぐに図書館カウンターまたは情報基盤センター事務室までご連絡ください！

放置していると、障害が解消された後に出力されてしまう場合があります！

●入学時に、無料で印刷ポイント 5,000 P が付与されます
(白黒: 10 P/枚、カラー: 50 P/枚)

※情報基盤センター1F 印刷室のみ、カラープリント可能。

・印刷ポイント確認方法

実習室でパソコンにログインすると、画面右上に残ポイントが表示されますので、確認してください

●印刷ポイントを増やすには・・・

大学生協(書籍・パソコンカウンター)で、
プリンタ用紙の引換券(500 P/400 円または 100 P/100 円)を購入し、引換券と学生証を持って情報基盤センター事務室にお越しください。(平日 9:00～12:00、13:00～17:00)

2-2. 電子メール(DEEPMail)の利用

【1】電子メールアドレスについて

あなたの利用者ID@oita-u.ac.jp

【2】“DEEPMail”とは

DEEPMail は、全学での推奨メールサービスです。
ブラウザ(閲覧ソフト)から利用できる電子メールソフトです。どのパソコンやモバイル端末からでも DEEPMail の機能を利用できます。

【3】“DEEPMail”利用方法

ブラウザを起動し、情報基盤センターHPの「WEB メール」をクリックします。

基盤センターリンク

WEBメール

A

下図の画面が表示されますので、“利用者ID”と変更した“パスワード”を入力し、ログインしてください。

大分大学

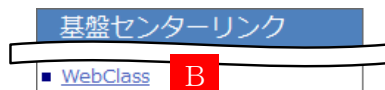
【4】その他

- ・サーバでのメールの保管期間は 180 日間となっています。
保管用のフォルダを作成し、受信トレイからメールを移動すれば、在学期間中はサーバにメールを保存しておくことができます。
- ・携帯電話への着信通知設定をしておくと便利です。
- ・添付ファイルは、マナーとして 5MB 以内にしましょう。
5MB を超えるファイルは、DEEPMail オプションの“Web ファイル機能”を利用しましょう。

2-3. e ラーニングの利用について

【1】“WebClass(授業補助教材)”の利用方法

ブラウザを起動し、情報基盤センターHPの「WebClass」をクリックします。



“利用者ID”と変更した“パスワード”を入力し、ログインしてください。

< コンテンツについて >

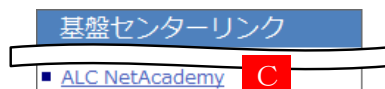
コンテンツとして、“INFOSS 情報倫理”および授業で利用するものがあります。

“INFOSS 情報倫理”は、大分大学に所属する人は誰でも利用できます。早い機会に学修して、情報セキュリティの基礎を身につけておきましょう。

授業で利用するコンテンツに関しては、授業担当の先生より指示があります。

【2】“ALC NetAcademy2(英語教材)”の利用方法

ブラウザを起動し、情報基盤センターHPの「ALC NetAcademy」をクリックします。



“利用者ID”と変更した“パスワード”を入力し、ログインしてください。

< コンテンツについて >

コンテンツとして、スタンダードコース、初級中級コース、技術英語基礎コース、医学英語基礎コースの4コースがあります。大分大学に所属する人は誰でも利用できます。本教材を利用して、TOEIC 等、英語の検定試験にチャレンジしてください。

Internet Explorer で利用してください。

なお、英語の講義で、本システムを利用することがあります。

その際は、先生の指示に従ってください。

2-4. 無線LANの利用について

【1】無線LANのアクセスポイントと設定値について

ESSID	暗号化	事前共有キー
20100ITA1 20100ITA2 20100ITA3 20100ITA4 20100ITA5	WPA2/AES	OITAUNIVERSITY1592 (半角大文字です！)

※設定方法は各パソコン等の無線LANの説明書をご覧ください。

自分のパソコンを大学で使用する場合は、無線LANで接続できます。本学の“キャンパスネットワークシステム”では上記のESSIDのアクセスポイントが設置されています。

これらのアクセスポイントは学内各所に設定されていますので上記の設定値を参照して利用してください。

利用の都度、認証サーバにより利用者IDとパスワードで認証を行います。

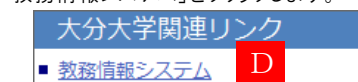
注)利用するパソコンはワクテンソフトが必須となっています。

注)モバイルルータ、テザリングなどは、アクセスポイントとの干渉を防ぐため、サービスの停止または電源を切るなどしてください。

2-5. CAMPUS SQUARE(教務情報システム)について

【1】“CAMPUS SQUARE(教務情報システム)”の利用方法

ブラウザを起動し、情報基盤センターHPの「教務情報システム」をクリックします。



“利用者ID”と変更した“パスワード”を入力し、ログインしてください。

・履修登録や成績照会などのシステムです。

・システムに関するお問い合わせは、教育支援課へ。

3. システム利用上の注意

3-1 情報教育システム室(実習室)の利用について

- (1) 教育・研究目的以外の使用はできません。
- (2) 授業時間中は受講者以外の立入は禁止です。
- (3) 埃などから機器を守るため、窓は常に閉めておくようにしてください。
- (4) 飲食は指定された場所をお願いします。
- (5) 自習利用時間中であっても、携帯電話による通話はしないでください。
- (6) パソコン等使用機器に異常があった場合は、事務室まで速やかに連絡してください。(事務室 554-7985)
- (7) パソコン等へのソフト組み込みや許可されていない機器の接続は禁止です。また、各自のドキュメントフォルダ以外には、ファイルを作成しないでください。

3-2 電子メールの利用について

- (1) 自分のメールアドレス(利用者ID)を他人に使用させてはいけません。
- (2) 不審な添付メールは開かないようにしてください。
- (3) 大容量のファイルをメールに添付しないでください。(5MB 以内。ただし携帯電話へ送信する場合は、1MB 以内。)
- (4) 不要メールは削除、必要なメールはファイルに保存するなどして既読メール、送信済メールは随時サーバから削除するようにしてください。

3-3 インターネットの利用について

- (1) 出所が定かでない外部記憶メディアをパソコンに挿入しアクセスすることは、ウイルスに感染している場合もあり大変危険です。中身を確認する前にウイルスチェックを行うようにしてください。
- (2) インターネットは匿名ではありません。自分の行動に責任をもって利用するよう心がけてください。

3-4 パスワードの管理について

- (1) センター発行のパスワードは、銀行の暗証番号と同じように大切なものです。定期的に変更して、管理には十分注意してください。
- (2) 万が一、パスワードを忘れたら、学生証持参のうえ、本人が情報基盤センター事務室までお越しください。

4. 情報基盤センターホームページ

<https://www.cc.oita-u.ac.jp/>

全ての情報は情報基盤センターホームページにて、詳細を公開しています。実習室のPCにログイン後表示される「お知らせ」「FAQ」も随時更新していますので、確認しましょう！

※一部、学内制限となっています。ご注意ください。

各種申請書

情報基盤センターが提供する各種サービスの利用にあたっては、下記の手続きが必要になります。

利用申請は、1.申請書提出、2.Web からオンライン申請、3.メールで申請の3通りに分かれています。申請書様式は以下のいずれかから入手できます。

- 情報基盤センター事務室窓口
- 情報基盤センターWeb ページ <http://www.cc.oita-u.ac.jp/> から、各種申請書のフォームまたは PDF ファイルへのアクセス

(1)「プリンタ利用申請書」(様式第 1 号)

サ ー ビ ス:	情報基盤センターのカラープリンタ（コピー機）・大判プリンタ・学生用プリンタ（印刷室・図書館）を利用することができます。
申請対象者:	本学教職員
備 考:	詳しくは『情報基盤センターのプリンタ利用に関する手引き』をご覧ください。

(2)「固定 IP アドレス申請書」(様式第 2 号)

サ ー ビ ス:	ネットワークに情報機器を接続するため、固定 IP アドレス／ホスト名の新規割当て、変更、終了（抹消）を行います。
申請対象者:	本学教職員
備 考:	変更の場合、その内容を具体的に備考欄に記述してください。設置者を変更する場合は新管理者を申請者として申請し、現管理者の署名、捺印を備考欄に記述してください。

(3)「実習室利用申請書」※Web フォーム

サ ー ビ ス:	本学の教育課程に基づく授業に関連した情報処理教育で、情報基盤センター施設を利用することができます。
申請対象者:	授業を担当する本学教職員 学外者が授業を担当する場合は、受入責任者
備 考:	毎年 1 月頃に翌年度の定期利用の受付を行います。情報教育システム室の利用時間が競合する場合には、利用時間を移動するなどセンターで調整することがあります。1 月末をめぐりに調整を行い申請者に通知します。なお、調整終了後は先着順で受付を行います。

(4)「WebClass コース作成申請書」※Web フォーム

サ ー ビ ス：	WebClass でコースを作成することができます。
申請対象者：	本学教職員 学外者がコースを開設する場合は、受入責任者
備 考：	コースは年度毎に管理されますので、年度更新する場合は、新規申請で新コースを開設するかコースの再利用作業が必要になります。 各種著作物のデータを扱う際には、著作権を侵害しないよう十分に注意してください。 ※2016 年度科目より教務情報システムとのデータ連携が開始されました。 教務情報システムに登録されている科目については自動的に WebClass に登録されます。

(5)「ワクチンソフト利用申請書」※Web フォーム

サ ー ビ ス：	ワクチンソフト Symantec Endpoint Protection を利用することができます。
申請対象者：	本学教職員
備 考：	ワクチンソフトを最新の状態で使用することは、学内 LAN に接続するための必須条件です。適切な設定を行い、常時ウイルスのチェックを行ってください。

(6)「ホスティングサービス利用申請書」(様式第 3 号)

サ ー ビ ス：	センターのサーバにホームページなどのコンテンツをおいて、ホスティングサービスを利用することができます。
申請対象者：	本学教職員 <u>※管理者（申請者）は、十分な知識・技術がある方に限ります。</u>
備 考：	教育研究利用を目的とする「組織」での利用を原則とし、個人での申請はできません。 サーバ（共有サーバ方式）の管理権限(root)は情報基盤センターが所有し、申請者は本センターが発行する管理者権限の範囲で構築を行います。

(7)「ファイアウォール開放設定申請書」(様式第 4 号)

サ ー ビ ス：	学内にサーバを設置し、学外に向けて公開するなど、ファイアウォールでの学外との通信制限を解除することができます。
申請対象者：	本学教職員
備 考：	開放するポート番号によっては、「理由書」の提出が必要な場合があります。

(8)「サブドメイン名申請書」(様式第 5 号)

サ ー ビ ス：	サブドメイン名の割当てを受けることができます。
申請対象者：	本学教職員
備 考：	本学を代表するサーバとなりますので、命名の際はご注意ください。

(9)「サブネットワーク申請書」(様式第 6 号)

サ ー ビ ス :	学内の建物内に独自に支線ネットワークを敷設し、IP ネットワークアドレスの割当てを受けることができます。
申請対象者 :	本学教職員
備 考 :	DHCP サーバを利用して情報機器を支線ネットワークに接続するときは、IP アドレスの必要個数を申請し、割当てを受けてください。支線ネットワークの運用管理及び保守は各建物を管理する部局が行い、複数の部局にまたがるときは、その部局間で協議し責任部局を決めるものとします。支線ネットワークの維持、設置及び変更に要する経費は、当該部局が負担するものとします。

(10)「無線 LAN アクセスポイント設置申請書」(様式第 7 号)

サ ー ビ ス :	無線 LAN アクセスポイントを設置することができます。
申請対象者 :	本学教職員
備 考 :	必ず暗号化の設定をして運用を行ってください。WEP、WPA、WPA2 と呼ばれる暗号化方式がありますが、WEP はセキュリティ強度が弱く、アクセスポイントが不正に利用される可能性があるので使用しないでください。また、WEP しか利用できない機器も WPA2 対応の機器に更新するよう努めてください。

(11)「一時インストール申請書」(様式第 8 号)

サ ー ビ ス :	センターの管理するシステムへ教育用ソフトウェアをインストールすることができます。
申請対象者 :	本学教職員
備 考 :	当該ソフトウェアが有償の場合、その経費負担者の署名、捺印を必要とします。遅くとも当該ソフトウェアの使用開始の 1 か月前までに申請してください。

(12)「メーリングリスト申請書」(様式第 9 号)

サ ー ビ ス :	メーリングリストの作成・管理をすることができます。
申請対象者 :	本学教職員
備 考 :	DEEPMail で登録したメーリングリストの管理ができるようになります。

(13)「共通スケジュール利用申請書」※Web フォーム

サ ー ビ ス :	DEEPMail のスケジュール機能において、研究室などの小グループのメンバー間で共有して利用できる共通スケジュールの作成・管理をすることができます。
申請対象者 :	本学教職員
備 考 :	作成された共通スケジュール(スケジュール名)は、大分大学の学生を含む利用者全体に一覧表示されますが、スケジュール内容の表示は、メンバー(閲覧権限や登録権限を与えた利用者)のみに制限されます。

(14) 「利用者 ID の利用停止申請書」※Web フォーム

サ ー ビ ス :	利用者 ID の利用を終了します。
申請対象者 :	本学教職員
備 考 :	退職などで利用を終了される方はすみやかに申請願います。なお、定年退職される方は事前にメール等でご連絡いたします。

(15) 「電子証明書の発行申請書」※メール

サ ー ビ ス :	サーバ証明書を取得できます。
申請対象者 :	本学教職員
備 考 :	国立情報学研究所の UPKI 電子証明書発行サービスでは、同サービスに参加する学術機関からの申請に基づき、機関が管理するドメインのサーバ証明書等を発行しています。大分大学も同サービスに参加しているため、本学が保有する oita-u.ac.jp ドメインのサーバ証明書（OV 証明書）については、個々の申請者は無償でご利用になれます。

挟間キャンパス（医学情報センター）の利用案内

挟間キャンパスでの基盤情報システムの利用のしかたは、医学情報センターのホームページに記載しています。 <http://med.oita-u.ac.jp/mic/>

1. 利用申請

(1) 利用者（個人）登録申請

基盤情報システムを利用したい方は、オンラインで利用申請を提出し許可を受けてください。

申請が承認・登録された後申請者に ID とパスワードを学内便で送付します。学部学生・大学院学生は入学時に学生用 ID を発行しますので申請する必要はありません。

(2) 利用者（グループ）登録申請

学会やサークルなどのメールアドレスを作りたい場合はこの申請をしてください。

(3) 端末接続申請

パソコンやプリンタ等の機器を LAN に接続したい場合はオンラインで設置申請を提出し、許可を受けてください。「挟間キャンパスの情報ネットワークに接続する機器の満たすべき技術的基準」を遵守してください。セキュリティ対応が行われていないパソコンは接続を許可しません。

(4) ワクチンソフト利用申請

ワクチンソフトの利用は必須です。基盤情報システムでワクチンソフトを無償で提供しています。オンラインで申請をするとダウンロードとインストールのしかたがメールアドレス宛に送付されます。

(5) ワンディアアカウント（ゲスト ID）申請

来客や研究会、短期留学生などで持込んだパソコンを LAN に接続するためのアカウントを発行します。職員が代理でオンラインで申請すればメールで ID とパスワードがリアルタイムに送付されます。

2. ネットワーク接続方法

(1) ユーザ認証

1 日 1 回 LAN 接続時に ID とパスワードで認証を行って利用します。

(2) 端末認証

端末接続許可あるいはワンディアアカウントがないと LAN に接続できません。

(3) 無線の利用

挟間キャンパスのほぼ全域で無線 LAN が利用できます。

(4) 利用制限

挟間キャンパスから学外への利用は HTTP と HTTPS だけに制限されています。またキャンパス外に接続するときにはプロキシを経由します。キャンパス外から内部の機器への接続はできません。

3. 利用相談

ネットワーク・メールトラブル・ウイルス駆除等のご相談は内線[6231, 6078]またはメール (micenter@oita-u.ac.jp) にてお願いします。

4. 学生が利用できるパソコン

情報処理実習室 120 台、自己学習室 60 台、チュートリアル教室 26 台

臨床講義棟ホール 60 台、臨床大講義室 60 台、看護学科棟資料室 10 台

医学図書館 20 台、貸出用ノートパソコン 32 台

eduroam の利用について

eduroam とは？

大学等の教育研究機関の間でキャンパス無線 LAN の相互利用を実現するためのローミングサービスです。世界で約 75 か国（地域）が eduroam に参加しています。大分大学では、平成 28 年 11 月より eduroam に参加しました。これにより、大分大学キャンパスだけではなく、他の eduroam 参加大学のキャンパスでも大分大学の利用者 ID とパスワードで Wi-Fi(eduroam)を利用することができるようになりました。

eduroam の参加機関は、こちらの URL から参照ください。

国内	http://www.eduroam.jp/participants/siteinfo.html
海外	https://www.eduroam.org/where/

eduroam の利用手順

使い方は各機関によって若干異なる場合があります。詳細は、利用する機関が提供する情報をご確認ください。

- ◆ eduroam の SSID は「eduroam」です
- ◆ 無線接続可能なネットワークの一覧から「eduroam」を選択します。
- ◆ 「ユーザ名」と「パスワード」を聞いてきます。大分大学のメールなどで使用している、ユーザ名とパスワードを入力してください。ユーザ名には、「@oita-u.ac.jp」をつけてください。
※大分大学で利用する場合には、「@oita-u.ac.jp」は省略可能です。
- ◆ 接続できない場合は、以下を設定してみてください。
 - セキュリティと暗号化の種類に「WPA2-エンタープライズ」と「AES」を選択
 - ネットワークの認証方式に「PEAP」を設定
 - 「サーバの証明書を検証する」のチェックを外します。

※詳しい利用方法については、情報基盤センターホームページをご覧ください。

💡 利用上の注意

eduroam を利用する際は、各機関の利用ポリシーを遵守してください。

Google カレンダーの利用について

大分大学では、2017年2月より、G Suite for Education（旧 Google Apps for Education）を導入します。これまで DEEPMail を使った共通スケジュール機能を提供してきましたが、DEEPMail の更新により共通スケジュール機能はなくなり、その代替の機能として、Google カレンダーを提供します。DEEPMail の共通スケジュールに登録済みのデータは、Google カレンダーに複製を予定しています。

G Suite for Education とは

G Suite for Education は、Google が教育機関向けに提供する、ウェブベースの統合コミュニケーションツールです。カレンダーやドキュメント作成機能など様々なサービスが利用可能です。また、インターネットに接続したパソコン、スマホ、タブレットなど様々な端末から利用することができます。

大分大学での利用

大分大学に在籍する学生および教職員の方は、大学のメールなどで使用している統合認証のアカウントを使って利用することができます。

※大分大学用 G Suite for Education では、メール機能(Gmail)は利用できません。

詳しい使い方や・利用規約については、今後、情報基盤センターホームページに掲載する情報を参照してください。利用に関しては、スケジュールの公開設定などセキュリティに十分注意をしてください。

The screenshot shows the Google Calendar web interface for January 2017. It includes a sidebar with a '作成' (Create) button and a list of calendar types: リマインダー (Reminders), 会議 (Meetings), 出張 (Travel), 情報基盤センター会... (Information Systems Center...), and 誕生日 (Birthdays). A '他のカレンダー' (Other calendars) section is also visible. The main calendar grid shows various events, including '成人の日' (Coming of Age Day) and '大判プリンタ搬入' (Large format printer delivery). Three blue callout boxes provide additional information:

- いろいろなカレンダーを作成できます** (You can create various calendars)
- 公開されている他の人のカレンダーを参照できます** (You can view other people's calendars that are public)
- カレンダーの共有範囲を選べます** (You can choose the sharing range of the calendar)

At the bottom, a '共有' (Share) dialog box is open, showing options to share the calendar with other users or groups. It includes checkboxes for 'このカレンダーを他のユーザーと共有する' (Share this calendar with other users) and 'このカレンダーを組織 大分大学 のすべてのユーザーと共有する' (Share this calendar with all users in the organization Oita University). The dialog also shows a list of users and a '権限の設定' (Set permissions) link.

委員会名簿(H28.10.1 現在)

学術情報拠点

役職名等	氏名	任期
拠点長	岸田 哲子	H27. 10. 1～H29. 9. 30
副拠点長（情報基盤センター担当）	吉田 和幸	H28. 4. 1～H30. 3. 31
副拠点長（医学情報センター担当）	島岡 章	H28. 7. 1～H29. 3. 31

学術情報拠点運営会議

役職名等	氏名	任期
拠点長	岸田 哲子	H27. 10. 1～H29. 9. 30
副拠点長（医学図書館担当）	岸田 哲子	H28. 4. 1～H30. 3. 31
副拠点長（情報基盤センター担当）	吉田 和幸	H28. 4. 1～H30. 3. 31
副拠点長（医学情報センター担当）	島岡 章	H28. 7. 1～H29. 3. 31
学術情報室長	中島 誠	H27. 11. 16～H29. 11. 15
情報基盤室長	真鍋 正規	H27. 11. 16～H29. 11. 15
専任教員	吉崎 弘一	H27. 4. 1～
教育学部 教授	平田 利文	H28. 4. 1～H30. 3. 31
経済学部 教授	宮下 清	H28. 4. 1～H29. 3. 31
工学部 教授	戸高 孝	H27. 4. 1～H29. 3. 31
医学部 教授	石崎 敏理	H28. 4. 1～H30. 3. 31
福祉健康科学部 教授	大杉 至	H28. 4. 1～H30. 3. 31
研究・社会連携部長	安倍 武司	H27. 4. 1～

情報基盤専門委員会

役職名等	氏名	任期
拠点長	岸田 哲子	H27. 10. 1～H29. 9. 30
副拠点長（情報基盤センター担当）	吉田 和幸	H26. 4. 1～H28. 3. 31
副拠点長（医学情報センター担当）	島岡 章	H26. 7. 1～H28. 6. 30
情報基盤室長	真鍋 正規	H27. 11. 16～H29. 11. 15
専任教員	吉崎 弘一	H27. 4. 1～
協力教員（情報基盤担当）	池内 秀隆	H27. 11. 16～H29. 11. 15
教育学部 教授	市原 靖士	H28. 4. 1～H30. 3. 31
経済学部 准教授	豊島 慎一郎	H26. 4. 1～H28. 3. 31
工学部 教授	戸高 孝	H26. 4. 1～H28. 3. 31
福祉健康科学部 助教	川上 健二	H28. 4. 1～H30. 3. 31
医療情報部長	三宅 秀敏	
医学部医学科 教授	谷川 雅人	H26. 4. 1～H28. 3. 31
医学部看護学科 教授	井上 亮	H26. 4. 1～H28. 3. 31
学術情報課長	瓜生 照久	H27. 4. 1～

情報基盤室

役職名等	氏名	任期
情報基盤室長		
協力教員（情報基盤担当）	真鍋 正規	H27. 11. 16～H29. 11. 15
専任教員（情報基盤担当）	吉田 和幸	H26. 4. 1～H28. 3. 31
協力教員（情報基盤担当）	市原 靖士	H27. 11. 16～H29. 11. 15
協力教員（情報基盤担当）	池内 秀隆	H27. 11. 16～H29. 11. 15

情報基盤専門委員会 広報部会

役職名等	氏名	任期
副拠点長（情報基盤センター担当）	吉田 和幸	H27.1.1～H28.12.31
副拠点長（医学情報センター担当）	島岡 章	H27.1.1～H28.12.31
教育学部 准教授	甘利 弘樹	H27.1.1～H28.12.31
経済学部 准教授	柴田 茂紀	
工学部 教授	戸高 孝	H27.1.1～H28.12.31
医学部 准教授	下田 恵	H27.1.1～H28.12.31
情報基盤センター技術職員	矢田 哲二	H27.1.1～H28.12.31